

令和4年度
埼玉県「性に関する指導」
課題解決支援事業
実施報告書



埼玉県マスコット「コバトン」
「さいたまっち」

令和5年3月

埼玉県教育委員会

はじめに

近年、社会状況の変化により、肥満・痩身、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、アレルギー疾患の増加、性に関する問題や新型コロナウイルス感染症など、児童生徒等の心身に影響を与える様々な健康課題が生じています。このような健康課題の解決を図るためにも、学校における健康教育は重要な役割を担っています。

新型コロナウイルス感染症については、その対応の長期化とともに、インフルエンザとの同時流行など、いまだ気を緩めることのできない状況が続いており、各学校においては、持続的に児童生徒の学びを保障するため、感染防止に配慮しながらの教育活動の実施に注力いただいていることと拝察いたします。

学校における性に関する指導は、児童生徒の発達段階に応じ、学習指導要領に基づいて、関連教科を中心に学校の教育活動全体を通じて行われています。とりわけ、体育科、保健体育科における保健の授業は、学習指導要領に位置付けられた学習であり、学校における健康教育の中核として効果的に推進されなければなりません。

本報告書は、埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業における令和4年度の取組の概要や成果等についてまとめております。すべての学校において、掲載の指導実践例等を活用していただき、児童生徒の発達段階を踏まえ、学校全体の共通理解の下、保護者の理解を得ることに配慮しながら、性に関する指導の充実が図られることを期待します。

結びに、本事業の円滑な推進に御尽力いただきました、「性に関する指導」課題解決検討委員の皆様をはじめ、実践発表、授業研究会等に御協力いただきました、各小中高等学校並びに関係教育委員会の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後もお一層の御指導・御協力を賜りますようお願いいたします。

令和5年3月

埼玉県教育局県立学校部保健体育課長

松中 直司

目 次

I	埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業について	
1	事業の趣旨	1
2	事業内容	1
3	実施内容	1
4	事業の成果と課題	3
5	令和5年度の事業について	5
II	埼玉県「性に関する指導」指導者研修会	6
III	埼玉県「性に関する指導」授業研究会	
1	小学校部会 小鹿野町立小鹿野小学校	31
2	中学校部会 所沢市立所沢中学校	45
3	高等学校部会 県立和光国際高等学校	57
IV	埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会	
1	設置要綱	79
2	委員名簿	81

I 埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業について

1 事業の趣旨

発達の段階に応じた効果的な性に関する指導を推進するために、学識経験者を含めた課題解決検討委員会を立ち上げ、効果的な指導法の研究・普及・実践を行うこと。

- ・課題解決検討委員を講師として、「知識を活用した保健学習—性に関する指導編・感染症編—」「新・なるほど保健学習」を活用した指導者研修会及び授業研究会を実施する。
- ・発達の段階に応じた性に関する指導について研究する。
- ・性に関する指導に携わる教員等を指導する指導者養成を兼ねる。

2 事業内容

- (1) 「性に関する指導」課題解決検討委員会
- (2) 「性に関する指導」指導者研修会
- (3) 「性に関する指導」授業研究会

3 実施内容

(1) 課題解決検討委員会について

- ア 第1回課題解決検討委員会 令和4年7月6日(水) 知事公館大会議室
- ・日程確認、役割(校種別)分担について
 - ・「知識を活用した保健学習—性に関する指導編・感染症編—」「新・なるほど保健学習」を活用した授業研究会について
 - ・「性に関する指導」指導者研修会について
- イ 第2回課題解決検討委員会 令和4年8月23日(火) さいたま共済会館505
- ・授業研究会について(発達の段階に応じた性に関する指導の実践研究)
- ウ 第3回課題解決検討委員会 各校種での授業研究会
- ・授業研究会について(発達の段階に応じた性に関する授業の実践研究)
- エ 第4回課題解決検討委員会 令和5年1月27日(金) 知事公館大会議室
- ・研究のまとめ

(2) 「性に関する指導」指導者研修会

ア 趣旨

性情報の氾濫や規範意識の低下から、青少年の性に関する問題行動に伴い、中高生における性感染症や人工妊娠中絶などが喫緊の課題となっている。

この課題解決のためには、学習指導要領の趣旨に基づいて、学校全体で共通理解を図り、保護者の理解を得ながら、児童生徒の発達の段階を踏まえた指導が必要である。

学校における性に関する指導の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

イ 開催日時 令和4年9月12日(金) 午後1時20分から午後4時30分まで

ウ 開催方法 Zoomによるオンライン開催

エ 参加対象者

- ・公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員(体育・保健体育担当教職員、養護教諭等)
- ・市町村教育委員会の指導主事

オ 内容

・行政説明

埼玉県教育局県立学校部保健体育課 指導主事 咲間 悟

・事例発表

小学校指導事例 第4学年「体の発育・発達」
(イ) 思春期の体の変化
桶川市立加納小学校 主幹教諭 高橋 陽太

中学校指導事例 第3学年「健康な生活と疾病の予防」
(オ) 感染症の予防
春日部市立東中学校 教諭 江夏 彩香
(元 行田市立忍中学校)

高等学校指導事例 第2学年「生涯を通じる健康」
(ア) 生涯の各段階における健康
県立総合教育センター 指導主事 塚本 卓司
(元 県立与野高等学校)

・講演

「新学習指導要領に基づく性に関する指導の進め方」
講師 聖心女子大学現代教養学部教育学科
教授 植田 誠治 氏

(3) 「性に関する指導」授業研究会

効果的な指導方法の実践研究を行う。

- 発達の段階に応じた効果的な性に関する指導を行うための指導方法の実践研究
- ・ 「性に関する指導」における小・中・高の系統的な保健教育の実践研究を行う。

【構造化された授業の提案】

- ・ 学習内容の明確化（1時間1時間に何を学ばせるのか、何を学んだのかが明らかかな授業）
- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ・ 健康に関する課題を解決する学習活動を積極的に行うなどの指導方法の工夫

① 小学校部会授業研究会

令和4年11月9日（水）小鹿野町立小鹿野小学校
第4学年「体の発育・発達」(イ) 思春期の体の変化
阿部 真子 養護教諭

② 中学校部会授業研究会

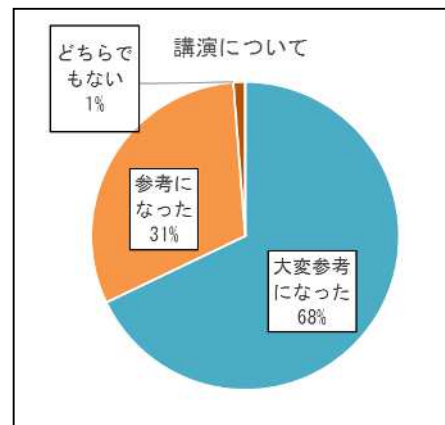
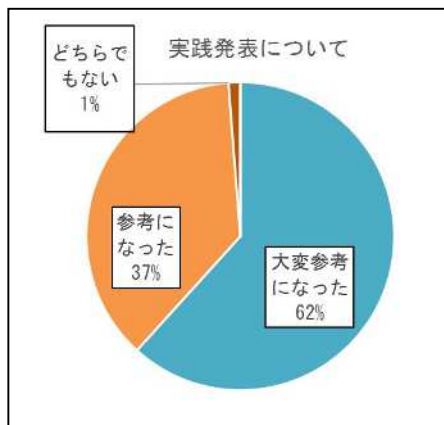
令和4年10月28日（金）所沢市立所沢中学校
第1学年「心身の機能の発達と心の健康」(イ) 生殖に関わる機能の成熟
三好明日美 養護教諭

③ 高等学校部会授業研究会

令和4年11月8日（火）県立和光国際高等学校
第2学年「生涯を通じる健康」(ア) 生涯の各段階における健康
斉藤美智子 養護教諭

4 事業の成果と課題

(1) 「性に関する指導」指導者研修会について ＜参加者アンケートより＞



【実践発表について】 ※抜粋

- ・先生方が授業を行うまでのプロセス等もお話してくださったので、とても参考になりました。校種の違う学校の授業も知ることができ、中学・高校と繋げていけるような授業をしていきたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・主体的で深い学びにつなげるための学習を行うためにはどのような学習形態を取れば良いかを学ぶことができた。学習指導要領を基に、どのような学習内容を組むかという点で学校の実態に沿って教えているところが、非常に良かった。(中学校・教諭)
- ・生徒たちの主体的学びを促す活動が参考になりました。具体的にどのような活動が生徒の「学びたい」を生み出す活動なのか自分だけでは思いつかないので、実践例を勉強できることはとてもありがたいです。実践した上での良かったこと、反省点なども合わせて教えてもらったのでこれから実践に繋げていきたいです。(中学校・養護教諭)
- ・実際に小学校・中学校でどのような指導をしているか、分からなかったのが具体的に知ることができてよかった。系統的という言葉もあったように、小中学校で勉強したことを踏まえて高校でもそれに繋がる指導ができればいいと思った。内容も非常に参考になるもので、ケーススタディやテキストマイニングなど使ってみようと思った。(高等学校・教諭)
- ・特別支援学校にて、性に関する単元を指導しているが、他の先生方がどのように授業をしているのかを知る機会が教員になってから全くなかった。なので今日の事例発表から多面的な指導方法を知ることができ大変良かった。(特別支援学校・教諭)

【講演会について】 ※抜粋

- ・植田先生の「学校は、健康教育を計画的かつ系統的に実施することができる最適な機関・組織である」という言葉が印象的でした。なかなか進んでいない性教育の実践も学校の強みを生かして、児童生徒の発達段階に応じた授業づくりをしていきたいと思いました。小中高の保健体育の教科書を用いた説明で理解しやすかったです。(小学校・養護教諭)
- ・小学校から高等学校までの系統性のお話が大変参考になった。特に高等学校での学習内容はあまり知る機会がないので、勉強になった。個人差が大きい中学校での一斉指導は難しいと感じた。その中で、集団指導と個別指導の関係性をわかりやくお話いただきとても参考になった。また、スウェーデンの中学校の授業の校長先生のお話など、興味深く聞くことができた。(中学校・養護教諭)
- ・特別支援学校は教科書がありませんが、小、中、高の教科書を見ながらどのような授業を展開しているのかを学ぶことができました。本校の児童生徒にも実態に応じて、性に関する指導を行っていく為に参考にさせていただきます。(特別支援学校・教諭)

<成果>

- 学習指導要領の指導内容をおさえた授業実践について周知することができた。
- 小・中・高等学校の系統的な指導内容の理解が深まった。
- 新学習指導要領改訂の背景や抑えるべきポイントの理解が深まった。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について理解が深まった。

<課題>

各学校で、「性に関する指導」を適切に推進していくために、学習指導要領を正しく理解することや、発達の段階を踏まえた指導内容、学校全体での共通理解、保護者の理解、集団指導と個別指導の連携を密にした効果的な指導をする必要がある。引き続き研修の充実を図りたい。

(2) 「性に関する指導」授業研究会について

① 小学校部会

- ・保護者の意見、アンケートを取り入れ、身近な大人の悩んだことなどが聞けて、子供たちもとても興味を持っていたところがとても良かったです。(小学校・教諭)
- ・「性に関する指導」というと、どうしても恥ずかしいという気持ちが先に出てしまい、なかなか発表できないのでは？と思いましたが、女子も男子も学び合いポイントを押さえ、元気よく発表できているのがとても素敵だと思いました。養護教諭の専門的なアドバイスも効果的でよかったです。(小学校・養護教諭)
- ・養護教諭との連携の方法や、家庭への協力体制を整える方法等、具体的に知ることができた。(小学校・教諭)
- ・自分自身ドキドキワクワクする授業展開でとても聞き入ってしまいました。子供たちへの発問が適切で全員が1時間楽しそうに集中して授業を受けていた。(小学校・養護教諭)

② 中学校部会

- ・性に関する話題は時として緊張感がなくなってしまうこともありますが、生徒たちが自ら興味をもって、自ら調べ、真剣に発表し合う姿がとても良かったです。(中学校・養護教諭)
- ・スクールタクトを使用して子供たちから出てきた言葉を教師が拾い上げながらまとめを行うということが勉強になった。(中学校・養護教諭)
- ・生徒自身が知りたいことを自分で調べていくうちに、興味関心が広がり、あれもこれも知りたいなど、一人一人が深い学びに繋がっていると思った。教科書に載っていないところまで調べていて、たくさんの生徒の気付きがあった授業であった。(中学校・教諭)

③ 高等学校部会

- ・養護教諭との連携を上手くすることで生徒の効果的な指導が行えることを知れた。また、グループワークを有効に活用することで、価値観がそれぞれ違うことに気付くきっかけにすることができると知った。(高等学校・教諭)
- ・ワークシートの記入状況から生徒たちの理解度が予想よりもはるかに高かった。「小・中で学んだことがつながった」「責任感を感じて大人に近づいている気がする」等のコメントを読んで、小さいころから系統的に学ぶ事の大切さを再認識しました。(特別支援学校・教諭)
- ・ポジティブに扱うことがとても参考になった。正しい知識を与えて、よいライフプランを設計させることが重要だと思った。(高等学校・教諭)
- ・言葉の選び方、生徒の多様性を理解した上でのパワーポイントの表記がとても参考になった。(高等学校・教諭)

5 令和5年度の事業について

(1) 「性に関する指導」課題解決検討委員会の実施（継続）

ア 日時

第1回	課題解決検討委員会	令和5年	6月28日	(水)	(予定)
第2回	課題解決検討委員会	令和5年	8月29日	(火)	(予定)
第3回	課題解決検討委員会（部会別授業研究会）				
		令和5年	10～11月		(予定)
第4回	課題解決検討委員会	令和6年	1月26日	(金)	(予定)

イ 内容

- ・課題解決検討委員会事業計画の作成
- ・「性に関する指導」指導者研修会の計画
- ・「性に関する指導」授業研究会の計画、指導案の検討
- ・成果報告
- ・事業のまとめ 等

(2) 「性に関する指導」指導者研修会

ア 日時 令和5年8月9日（水） オンライン開催

イ 内容

- ・行政説明
- ・事例発表

小学校指導事例	第4学年「体の発育・発達」 (イ) 思春期の体の変化 小鹿野町立小鹿野小学校	阿部 真子	養護教諭
中学校指導事例	第1学年「心身の機能の発達と心の健康」 (イ) 生殖に関わる機能の成熟 所沢市立所沢中学校	三好明日美	養護教諭
高等学校指導事例	第2学年「生涯を通じる健康」 (ア) 生涯の各段階における健康 県立和光国際高等学校	斉藤美智子	養護教諭

II 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会

令和4年度 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会開催要項

1 趣 旨

性情報の氾濫や規範意識の低下から、青少年の性に関する問題行動に伴い、中高生における性感染症や人工妊娠中絶などが喫緊の課題となっている。

この課題解決のためには、学習指導要領の趣旨に基づいて、学校全体で共通理解を図り、保護者の理解を得ながら、児童生徒の発達段階を踏まえた指導が必要である。

学校における性に関する指導の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

2 開催日時 令和4年9月2日（金） 午後1時20分から午後4時30分まで
（接続：午後1時～）

3 会 場 Z o o mによるオンライン開催（ライブ配信）

4 主 催 埼玉県教育委員会

5 参加対象者

(1)公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員（体育・保健体育担当教職員・養護教諭等）

(2)市町村教育委員会の指導主事

※参加人数の上限を500名とし、上限に達した場合は、申し込みを締め切ります。

6 日 程

13:00	13:20	13:25	13:45	14:45	14:55	16:25	16:30
受 付	開 会 行 事	行政説明 20分	指導事例発表 60分	休憩	講 演 90分	諸 連 絡	閉 会 行 事

7 内 容

(1)行政説明

・教育局県立学校部保健体育課 指導主事 咲間 悟

(2)埼玉県「性に関する指導」実践推進委員会指導事例発表

・小学校指導事例 第4学年「体の発育・発達」 (ア) 体の発育・発達
桶川市立加納小学校 高橋 陽太 主幹教諭

・中学校指導事例 第3学年「健康な生活と疾病の予防」
(オ) 感染症の予防
春日部市立東中学校 江夏 彩香 教諭
(元 行田市立忍中学校)

・高等学校指導事例 第2学年「生涯を通じる健康」
(ア) 生涯の各段階における健康
県立総合教育センター 塚本 卓司 指導主事
(元 県立与野高等学校)

(3)講 演

「新学習指導要領に基づく性に関する指導の進め方」

講師 聖心女子大学現代教養学部教育学科

教授 植田 誠治 氏

8 準備する物

指導資料「新・なるほど保健学習」（平成27年3月 埼玉県教育委員会・埼玉県学校保健会）

*ダウンロード：埼玉県HP → トップページ「健康・福祉」 → 健康教育

—指導事例発表資料—

【小学校指導事例】

第4学年 体育（保健領域）

「体の発育・発達」（ア）体の発育・発達

発表者：桶川市立加納小学校 主幹教諭 高橋 陽太

【中学校指導事例】

第3学年 保健体育（保健分野）

「健康な生活と疾病の予防」（オ）感染症の予防

発表者：春日部市立東中学校 教諭 江夏 彩香
（元 行田市立忍中学校）

【高等学校指導事例】

第1学年 保健体育（科目保健）

「生涯を通じる健康」（ア）生涯の各段階における健康

発表者：県立総合教育センター 指導主事 塚本 卓司
（元 県立与野高等学校）

令和4年度

埼玉県「性に関する指導」指導者研修会

～実践発表(小学校)～

単元名「体の発育・発達」
(ア) 体の発育・発達 (イ) 思春期の体の変化

桶川市立加納小学校 主幹教諭 高橋陽太

指導のつながり

研究の概要

児童の実態

実践

成果と課題

小学校：思春期の体の外に表れる変化
体の中起こる変化と個人差

中学校：生殖にかかわる機能の成熟
成熟に伴う変化に対応した適切な行動

高等学校：思春期における心身の発達
性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化

研究の概要

児童の実態

実践

成果と課題

小学校：思春期の体の外に表れる変化
体の中起こる変化と個人差

学習内容

第1時
○体は年齢に伴って変化すること
○体の発育・発達には個人差があること

第2時
○次第に大人の体に近づき、体つきが変わること

第3時
○初経、精通などが起こること
○異性への関心が芽生えること

学習形態

担任とのIT

担任とのIT

養護教諭とのIT

第1時

- 体は年齢に伴って変化すること
- 体の発育・発達には個人差があること

【導入】

活動①

〈わたしはだれでしょうクイズ〉
児童の幼少の頃の写真や新生児の人の形との比較から、課題をより身近なものに自分事として捉えられるようにする。そしていくつが挙げられる発育に伴う体の変化から、本時で取り上げる「身長の伸び」に焦点を当てていく。

〈本時の課題〉

私たちの体は、どのように発育しているのだろうか。



第1時

- 体は年齢に伴って変化すること
- 体の発育・発達には個人差があること

研究の概要

児童の実態

実践

成果と課題

【展開前半】

活動②

対話的活動から知識を習得する場面

＜発育グラフの作成＞
紙テープ（A学期から4年生までの身長
の伸びの合計の長さ）を切り分け、身長
の伸びのグラフを作り、それぞれの発育の変
化について話し合う。

指導すべき内容
○身長や体重は、年齢に伴って変化すること。
○体の変化には個人差があること。



評価【知識】（観察・学習カード）

体は、年齢に伴って変化すること、体の変化
には個人差があることについて、理解したこと
を言ったり書いたりしている。

第1時

- 体は年齢に伴って変化すること
- 体の発育・発達には個人差があること

研究の概要

児童の実態

実践

成果と課題

【展開後半→まとめ】

活動③

習得した知識を活用する場面

〈ケーススタディ〉
体の発育・発達に関する他について、適
切なアドバイスを考え、発表する。

【ケース1】
身長が伸びないまま、体重が増えている。原因は、
何ですか。

【ケース2】
身長が伸びないまま、体重が増えている。原因は、
何ですか。

【ケース3】
身長が伸びないまま、体重が増えている。原因は、
何ですか。



〈まとめ〉
本時で学んだこと、これからの体の変化
をどのように迎えるか、考えをワークシ
ートに書き表す。

評価【思考・判断・表現】（観察・学習カード）
体の発育・発達について、学習したことを自
分の成長や生活と比べて、関心をもちたり
するなどしたことを書いたり、説明したりして
いる。



桶川市立加納小学校

- ・創立149年(明治6年開校)
- ・児童数355名
- ・通常の学級12クラス
- ・特別支援学級2クラス
- ・学校教育目標
『じぶんをみがき ともに生きる 加納っ子』
- ・目指す学校像
『地域に誇れる 加納小学校』



4年2組
男子17名 女子15名 計32名

研究の概要

児童の実態

実践

成果と課題

アンケートから見る
児童の実態

1. 体の発育は好きですか？	はい	いいえ
2. 運動は大切だと思いますか？	22	9
3. 好きなことと体の関係は、どこが違っていますか？	31	0
4. 自分の体の状態を知りたいと思っていますか？	20	11
4-1. どれほど知るといいと思いますか？		
5. 運動の楽しさを知りたいと思っていますか？	12	19
6. 運動は大切だと思いますか？	31	0
7. 男子と女子で運動が得意なところが違いますか？	19	12
8. 運動が得意なところが違いますか？	26	5
9. 運動が得意なところが違いますか？	4	27
10. 運動が得意なところが違いますか？	18	13
11. 運動が得意なところが違いますか？	14	17
12. 運動が得意なところが違いますか？	6	25
13. 運動が得意なところが違いますか？	23	8
14. 運動が得意なところが違いますか？	30	1

【導入】

活動①

くわしたばたれでしようクイズ>
児童の幼少の頃の写真や新生児の人形との比較から、課題をより身近なものに自分事として捉えられるようにする。そしていくつかが挙げられる発育に伴う体の変化から、本時で取り上げる「身長の伸び」に焦点を当てていく。



研究の概要

児童の実態

研究の概要

成果と課題

【展開前半】

活動②

対話的活動から知識を習得する場面

<発育グラフの作成>
紙テープ(入学時から4年生までの身長伸びの合計の長さ)を切り分け、身長伸びのグラフを作り、それぞれの発育の変化について話し合う。

指導すべき内容
○身長や体重は、年齢に伴って変化すること。
○体の変化には個人差があること。



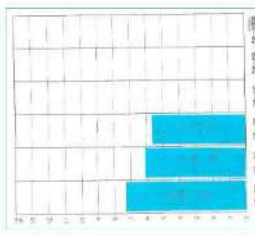
〈本時の課題〉

私たちの体は、どのように発育しているのだろうか。



評価【対話】(観察・学習カード)

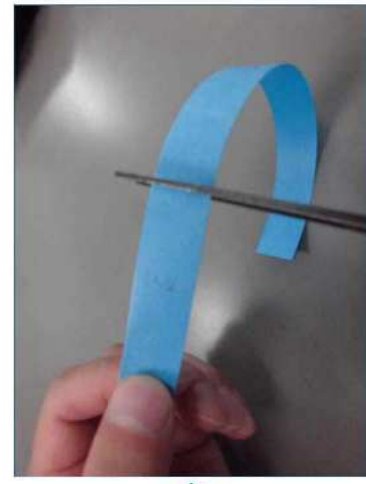
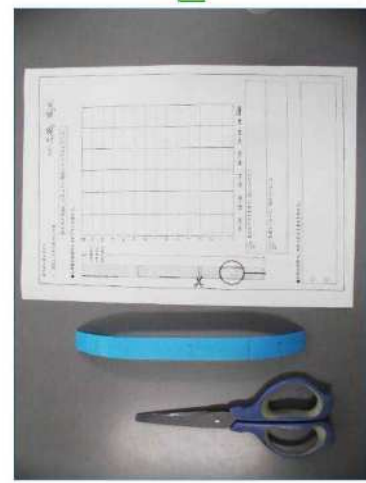
体は、年齢に伴って変化すること、体の変化には個人差があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。



研究の概要

児童の実態

成果と課題



研究の概要

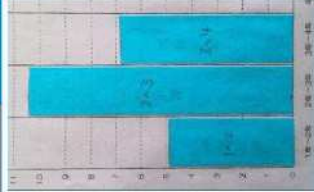
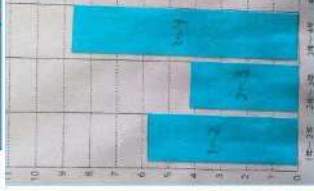
成果と課題

研究の概要

児童の実態

実践

成果と課題



研究の概要

児童の実態

実践

成果と課題

《児童の気づき》

- 3年～4年の間がよく伸びている。
- 2年でぐんと伸びた。
- 毎年同じだけ大きくなっていく。

対話的活動から知識を習得する場面



《児童の気づき》

- 友達と伸び方が似ていた。
- 4人とも伸び方が違っていた。
- みんなちゃんと大きくなっていった。

研究の概要

児童の実態

実践

成果と課題



評価【知識】(観察・学習カード)

体は、年齢に伴って変化すること、体の変化には個人差があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。



【展開後半→まとめ】

習得した知識を活用する場面

活動③

〈ケーススタディ〉

体の発育・発達に関する悩みについて、適切なアドバイスを考え、発表する。

【ケース1】



【ケース2】



【ケース3】



研究の概要

児童の実態

実践

成果と課題



習得した知識を活用する場面

研究の概要

児童の実態

習得した知識を活用する場面

研究の概要

児童の実態

成果と課題



友達の身長が急のびてねかされても、だいたいようだよ。身長がのびる長さは、人それぞれだね。だからしんはいさることだよ。

より

◆今日の学習のよさを振り返りしよう。
○（身長）は、知らないともものにびる。
○理解のしかたには、（人差）がある。

◆これからの学習のよさを振り返りよう。
「人差」と言う言葉を知り、もしあまりのびなくなると不安にならなくていいんだと思えて、わたくし少し安心しました。

〈まとめ〉
本時で学んだこと、これからの体の変化をどのように迎えるか、考えをワークシートに書き表す。



評価（思考・判断・表現）（観察・学習カード）
体の発育・発達について、学習したことを自分の成長や生活と比べたり、関係を付けたりするなどしたことを書いたり、説明したりしている。

◆これからの体の変化について、今日の自分の気持ちを書きよう。
これから身長がのびなかなたらどうしようかと思っただけで身長には個人差があるよ、ささいなことは、としました。

◆これからの成長や生活と比べたり、関係を付けたりするなどしたことを書いたり、説明したりしている。
わたくしは、もし、このようになんばいいしている人がいたら、上のようになんばいいと思います。

単元全体の学習後の児童の感想

研究の概要

児童の実態

習得した知識を活用する場面

研究の概要

児童の実態

成果と課題

- 体の変化には、個人差があることがわかった。
- 友達と比べることで、身長の伸びかたが違うことがわかった。
- 体に毛が生えてきても、これからはびつくりしない。
- 男子には普通、女子には初経が起ることがわかった。
- 保健室の先生に教えてもらえたことが心に残った。
- 不安だったことが、学習をして安心に変わった。
- 女の子のことも男の子のこともいっぱいわかるようになったから、こまっている子のことを助けてあげたい。

【成果】

- 1時間で何を学ばせるのか（教師）、1時間で何を学んだのか（児童）、学習内容を明確にした指導を行うことができた。
- 対話的な活動を意図的に取り入れることができた。
- 対話的な活動を意図的に結びつけることができた。
- 養護教諭との連携により、体の発育・発達について養護教諭の専門性を十分に活用した展開となったことに加え、今後、思春期の児童に生じる悩みを相談できる安心感につなげることができた。
- 学習を終えて、自己や他者を大切にすることを増えたと。

【課題】

- 児童が主体的に学び、習得した知識を活用することができる学習活動のさらなる工夫。
- 「性に関する指導」への研究が今後も深まり、持続していくための校内指導計画の充実と、校種間連携の在り方。

ご清聴ありがとうございました。



桶川市立加納小学校 高橋 陽太

令和4年度埼玉県「性に関する指導」指導者研修会



第3学年「健康な生活と疾病の予防」(オ)感染症の予防
 春日部市立東中学校 江夏 彩香
 (行田市立忍中学校)



行田市立忍中学校の概要

・埼玉県の北部に位置する市
 ・日本屈指の足袋産地として知られ
 「和装文化の足元を支え続ける足袋職のまち行田」が日本遺産
 に認定されている。



○開校 76周年
 ○令和3年度：各学年3クラス、特別支援学級2クラス 全校生徒342名
 ○学校教育目標：自ら学び ともに励み 未来を拓く
 ○校訓：自治・協同・勤勉
 学校の隣には、映画「のぼうの城」の舞台となった忍城や、周辺には埼玉県名発祥の地「さきたま古墳」など貴重な史跡が残っている。豊かな自然に囲まれた地域に位置する学校。

指導すべき内容

(オ) 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。

【エイズ及び性感染症の予防】

- ① エイズ及び性感染症の増加傾向と青少年の感染が社会問題となっていることから、**疾病概念や感染経路**について理解できるようにする。
- ② 感染のリスクを軽減する**効果的な予防方法を身に付ける必要**があることを理解できるようにする。

保健授業の悩み (性感染症・エイズ)

- ① 一方的な知識の押し付け
 - ・健康について、自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて考え・発信してほしいと願うが、性に関する内容では、講義型の授業になってしまっていることがある。
- ② 性情報の知識の差
 - ・生徒によって知識の差がある為に「性的接触」が何を示しているのかわからず、何を示しているのか理解できないまま授業が進んでしまう。
- ③ 自分事として捉えることが難しい
 - ・保健の授業では、生涯にわたって必要になる知識を教えているが、中学生が自分ごととして捉えるには難しく、他人事で終えてしまう。

導入 展開 まとめ

○エイズに関する情報から課題を掴む

- ①HIV・エイズ感染者数の国内グラフの提示
- ②エイズに対する一般的なイメージ
- ③レッドリボン



HIV・エイズ国内感染者数
1985年以降 2013年まで HIV陽性者数 エイズ感染者数

導入 展開 まとめ

○生徒の事前アンケート
「エイズに関して知知っていること」の回答をテキストマイニング化したものを提示



・一般的なイメージに近い
・知っている情報に偏りがある
・理解すべき点をわかっていない

導入 展開 まとめ

○「ウズベキスタン：『私をハグしてください』
～HIV陽性の女の子が伝えたいこと～/日本ユニセフ協会
(YouTubeより)

【なぜ?】どうしてHIV感染者に対して差別や偏見が生まれてしまうのだろうか。

導入 展開 まとめ

○課題：エイズとはどんな病気だろうか。予防するためにはどうすればよいのだろうか。

学習の手立て

- ・グループ学習 知識構成型ジグソー法（男女混合の6名程度）

グループ学習で使用したもの

- ・エイズまるわかりシート
- ・感染者情報カード
- ・タブレット

導入 **展開** **まとめ**

読み取り

- 班の中で、A～Dの項目にわかれる。
- それぞれ、A～Dで集まり感染者情報カードから読み取る。

共有

- 調べた内容を、班に戻り説明する。
- それぞれが調べた内容をワークシートにまとめる。

確認

- 調べた内容をクラス全体で確認する。

導入 **展開** **まとめ**

導入

★生徒からのシート

① A～Dの項目にわかれる。

② それぞれ、A～Dで集まり感染者情報カードから読み取る。

③ 調べた内容を、班に戻り説明する。

④ それぞれが調べた内容をワークシートにまとめる。

⑤ 調べた内容をクラス全体で確認する。

展開

★班の中でA～Dの項目にわかれる

まとめ

A：エイズってどんな病気？病原体は何だろう？
 B：エイズの感染経路って何だろう？
 C：エイズを予防するためにできることは？
 D：エイズの潜伏期間ってどのくらい？

導入 **展開** **まとめ**

導入

★感染者情報カードから必要な情報を読み取る。

展開

感染者情報カードを並べて見比べる。

まとめ

班に戻り、情報交換！

★生徒からでた意見

- 潜伏期間が長い人もいたよね。
- 病原体は調べないとわからなかったね。

導入 **展開** **まとめ**

導入

★生徒からのシート

① A～Dの項目にわかれる。

② それぞれ、A～Dで集まり感染者情報カードから読み取る。

③ 調べた内容を、班に戻り説明する。

④ それぞれが調べた内容をワークシートにまとめる。

⑤ 調べた内容をクラス全体で確認する。

展開

感染者情報カードを並べて見比べる。

まとめ

班に戻り、情報交換！

★生徒からでた意見

- 生徒からでた意見
- 病名に、HIVとエイズがある！エイズではない人もいてこと？発症していない人もいる
- 性的接触で感染している。

導入 展開 まとめ

○調べてわかったことを **発表→確認→共有**





班で完成させたシートと照らし合わせながら書き込みしてみています。

導入 展開 まとめ

○指導すべき内容

- ・エイズとは、HIVという病原体による感染症であること。
- ・予防方法として、感染の危険がある性的接触を避けること、コンドームを使用すること。他人の血液に触れないことが有効であること。




導入 展開 まとめ

○授業後、「エイズとは何か」をテキストマイニングし授業前と比べ、得た知識の状況の変化を確認する。



導入 展開 まとめ

○押さえたポイントを教科書を活用して復習「こんなことでは感染しません」を確認する。



性的接触が主な原因だということから、生徒さんではないことではないよ、という声がたくさん聞かれました。

生徒の感想

氏名	感想
佐藤 大	エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。
佐藤 大	エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。
佐藤 大	エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。
佐藤 大	エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。
佐藤 大	エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。
佐藤 大	エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。
佐藤 大	エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。
佐藤 大	エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。
佐藤 大	エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。
佐藤 大	エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。

エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。

エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。

エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。

エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。

エイズは、他の感染症よりも深刻で、日本ではまだ多くの人に知られていない。自分も感染しないように気をつけたい。

授業参観者からの感想

○良かった点

- ・テキストマニプレーション化することによって、授業の前後での変容がわかりやすい。
- ・正しい知識が身に付いていた。
- ・自分達で調べること、実践につながる学びになっていた。

○改善すべき点

- ・アズマイさんが、身近な存在ではないので美感しにくいのではないかと。保健体育の分野が必要か。差別防止などに偏らないように配慮が必要。
- ・“調べる”と“伝える”の違いを明確にする。
- ・知らなくてよい情報に対しては、教師がフォローする。

成果・課題・感想

成果

- ・エイズに関する知識が身に付いた。
- ・情報を読み取らせることで、多くの可能性を考えながら、思考を深めることができた。
- ・グループ活動により、自ら考え発信できない生徒も、助け合いながら活動できた。

課題

- ・感染者情報カードの内容をより細かく、見比べる内容について工夫する必要がある。
- ・タブレットでの調べ学習では、教えるべき内容以外の取り扱いに注意する必要がある。

○感想

・性に関する内容で生徒が主体的に活動できる授業作りに悩んだ。実際に調べ学習やグループ学習を取り入れることで、生徒が主体的に取り組むことができた。生徒によって元々、知っている知識の差がある為、どう説明すべきかが今後の課題である。また、他機関や保護者の方と協力し、より専門的な活動ができると良いと思った。

ご清聴ありがとうございました





令和4年度 埼玉県「性に関する指導」 指導者研修会 高等学校指導実践発表



県立総合教育センター
指導主事兼所員 塚本 卓司
(授業時：埼玉県立与野高等学校)



令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

1 授業を実施するにあたって

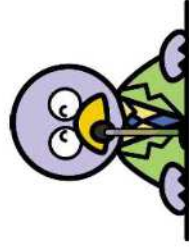
令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

発表の流れ

1 授業を実施するにあたって

- ・ 授業内容の検討（指導案作成）
- ・ 指導要領との関連
- ・ 事前アンケートの実施

2 当日の授業の様子



3 まとめ

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業前の準備

授業内容の検討

- | | | |
|-----|-------------------------------------|---------------------------------|
| その1 | 授業対象 → 高校2年生 | この事業に合った
内容 |
| その2 | 学習内容 (2) 生涯を通じる健康
ア 生涯の各段階における健康 | |
| その3 | 本校の実態を知る → | 養護教諭に生徒の性に
関する悩みなどの実情
を聞く |
| その4 | 聞いた内容から
教科の指導内容と照らし、授業展開を考える | |

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

その結果

本校における性の悩みに関する相談は無かった

そこで…



根本の考えでもある、男女の違い、異性への尊重
など性意識について、おそらく学校生活において
最後となる…、高2の時期に学習として取り入れて
みよう…

③ ということで

授業内容の決定

性意識と性行動の選択 を行うことにする

最終的なゴール設定（授業者の想い）

性意識

- ・男女それぞれの考えを知る
(身体的な違い、考えの違いなど)



(性) 行動の選択

- ・新たに知った知識を元に
今後行動していきけるように
する

新学習指導要領での内容

単元名 (3) 生涯を通じる健康

(ア) 生涯の各段階における健康

① 思春期と健康

指導要領との関連

- ・今後のことも踏まえ、新学習指導要領に照らし合わせ
て学習指導案を作成することに。



単元名 「(3) 生涯を通じる健康」
(ア) 生涯の各段階における健康 (ア) 思春期と健康

知識

思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。

なお、指導に当たっては、発達の段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。

授業前の準備

直前の授業

事前アンケートの実施

事前アンケート	
該当するものに○をつけてください	
【質問】	【回答】
1 回答者	男 ・ 女
2 男女の違いはある	ある ・ ない
3 異性と関わることは	得意 ・ 苦手 ・ どちらでもない
4 どちらかという上異性とは	仲良くしたい ・ 仲良くしたくない ・ どちらでもない
5 異性からさらされて嬉しかったことが (行動や行動)	ある ・ ない
6 異性からさらされて嫌だったことが	ある ・ ない

質問は以上です。

単元名 「(3) 生涯を通じる健康」
(ア) 生涯の各段階における健康 (ア) 思春期と健康

思考力、判断力、表現力等

生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できるようにする。

〈例示〉

- ・生涯を通じる健康に関わる事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を持ちに整理したり、個人及び社会生活と関連したりして、自他や社会の課題を発見すること。
- ・思春期と健康について習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理すること。
- ・生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明すること。

2 当日の授業の様子

このような流れの授業でした

実施日 令和3年11月16日(火) 第5校時
対象 与野高校2年生 男子17名 女子22名 計39名

- ①この時間のねらい
 - ②事前アンケート結果発表
 - 主体的、対話的
深い学びに向け
 - ③男女の違いについて(グループワーク)
 - グループワークで
他者の意見を聞く
 - ④性に関わる社会的な問題について
 - ・異性から受けた嬉しかったこと、嫌なこと(グループワーク)
 - ・セクシャルハラスメントの定義を知る
 - ⑤まとめ
 - ・他のグループの作成物を見る
 - ・今後の異性との関わりはどうする?(個人作業)
- ↓
- 個人で考えをまとめ、次に活かす

導入

授業実践

本時のねらい

思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて理解したことを言ったり書いたりできるようにする。

性意識の変化と性行動の選択

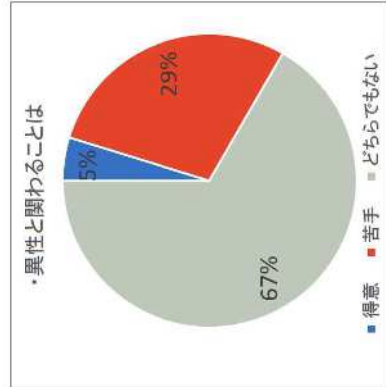
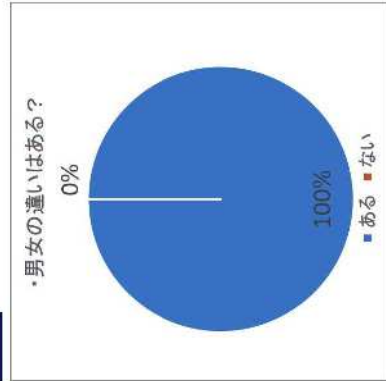
異性とよりよく接するためには
どのようなことに気を付けられ
良いだろうか?

授業実践

導入

事前アンケート結果

女子

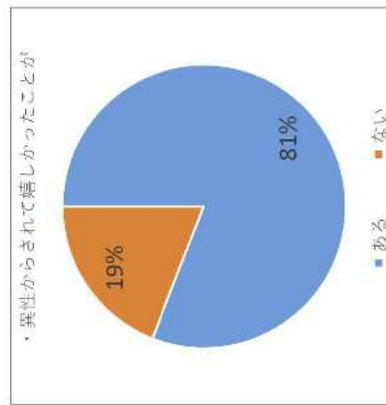
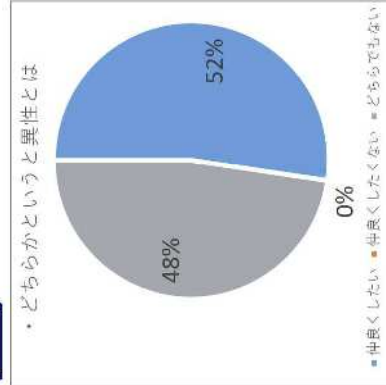


授業実践

導入

アンケート結果

女子

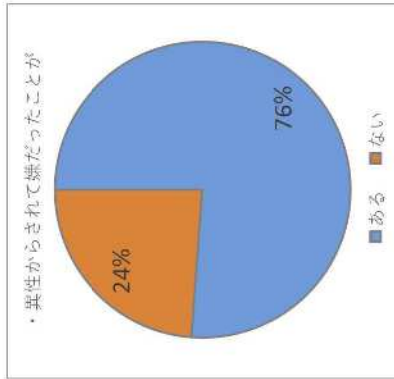


授業実践

導入

アンケート結果

女子

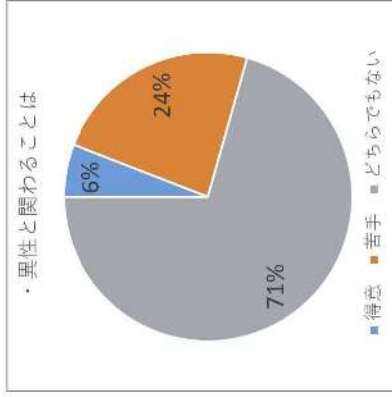
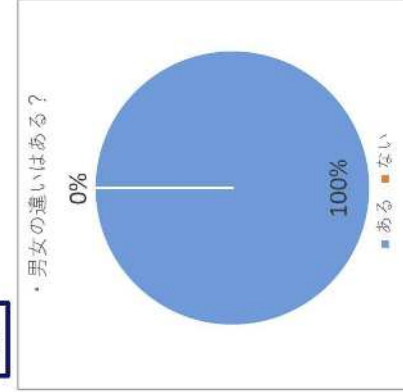


授業実践

導入

アンケート結果

男子



令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

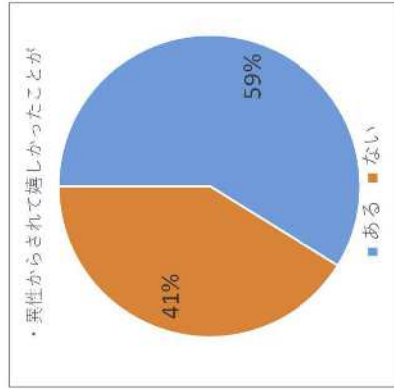
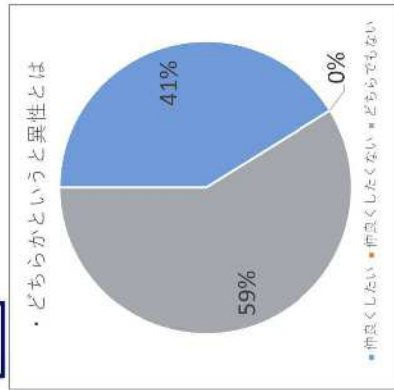
令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

導入

アンケート結果

男子

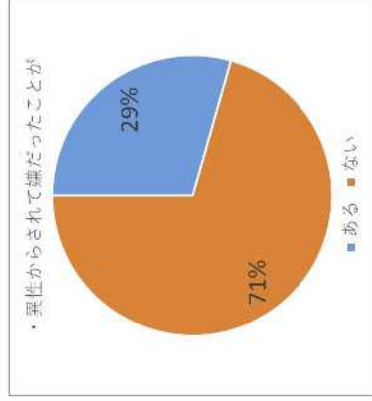


授業実践

導入

アンケート結果

男子



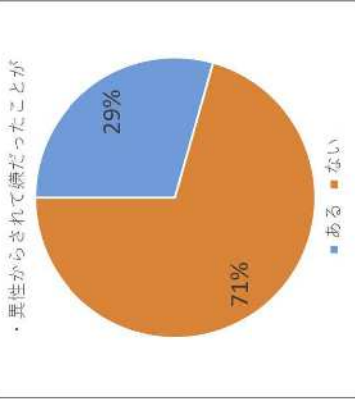
令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

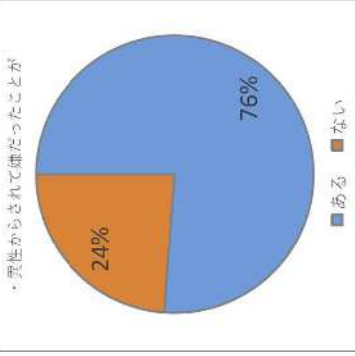
授業実践

アンケート結果

男子



女子



導入

授業実践

授業の進め方

主体的・対話的な授業の展開



グループワーク主体の授業

・ブレインストーミング

グループ分け

今回は男女別のグループで実施

・最大6人、男女とも3グループずつ

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

グループワーク①

ブレインストーミング

テーマ 男女の違いについて

- 作業① ・男女の違うところを付せんに各自書き出す
- 作業② ・書き出した付せんを模造紙に張り付ける
→指定された内容ごとに区分けする
【区分け】身体的・精神的・肯定的・否定的
- 作業③ ・数班に発表してもらう

展開

模造紙のレイアウト

男女の違いについて

肯定的

否定的

身体的

精神的

反省点①

- ・先に仕分け箇所を書かなくても良かった。
- ・肯定、否定を分けなくても良かった。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業



実際に生徒が書いたものをリメイクしました



生徒から出た意見から

男女の違いについて①

身体的

- ・ 体つき
- ・ 体力
- ・ 身長低い
- ・ 声高い
- ・ 女性のほうが寿命が長い
- ・ 髪の毛
- ・ 服装

精神的

- ・ 仕事
- ・ メンタルの強さ
- ・ 趣味

生徒から出た意見から

男女の違いについて②

身体的

- ・ 声の高さ
- ・ 体力テストの走る距離
- ・ (生殖器) あるかないか
- ・ 水着のデザイン
- ・ 筋力
- ・ 体格差
- ・ 体のつくり

精神的

- ・ 美意識 (メイク)
- ・ 趣味
- ・ 思考の違い
- ・ 職業
- ・ 歌舞伎役者になれるか

授業実践

振り返りと次の展開

振り返り

- ・ 男女の違いについて思いついたことが多かったのは、身体的なこと？精神的なこと？

より深く考える

- ★身体的なことについては視覚的にわかることが多い
- ★精神的なことについては視覚的にわかることが難しい

次に、目には見えにくい、**精神的**なことについて考えていく

授業実践

展開

グループワーク②

ブレインストーミング

テーマ

異性からされて嬉しかったこと嫌だったこと

- 作業① テーマの内容を付せんに各自書き出す
- 作業② 書き出した付せんを模造紙に張り付ける
- 作業③ 内容の精査（社会的に問題となる事項の有無）
- 作業④ 数班に発表してもらう

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

ICTを活用し、ジャムボードを使うところになります。

※当日はできておりません。



令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

展開

生徒から出された意見

異性からされたことで

嬉しかったこと

- ・チヨコをもらった。
- ・おかしくれた
- ・細かいところを気遣ってくれた
- ・勉強おしえてくれた
- ・苦しんでいる俺をやさしくだきしめてくれたこと
- ・なぐさめてくれた
- ・ゴミ当番変わってくれた
- ・重いもの持ってくれた

嫌だったこと

- ・キモイっていわれた
- ・こわいっていわれた
- ・すぐ泣かれた
- ・便乗してイジられた
- ・チクられた
- ・蹴られた
- ・うそつけられた
- ・お金出された
- ・男子と間違われた

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

授業実践

展開

異性間で起こるトラブル

セクシュアル・ハラスメント

の理解

異性との関わりで、「嫌だ」「不快だ」「不快だ」という事は時に大きな問題となってしまふ。

説明①

セクシュアル・ハラスメントについて教科書での用語説明

説明②

ワークシートを配り記入

相手を不快にさせる性的嫌がらせのことで、性的な関心や欲求にもとづく発言、性差別的な発言、相手の体に触れる、性的な関係を強要するなど多岐にわたる。

それがセクシュアル・ハラスメントに該当するかどうかは、基本的にいわれた、もしくはされた本人がその言動を不快に感じるかどうかによって決ま

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

配布した ワークシート

性差別と性行動の現状 文部科学省 調査結果	
◆セクシュアル・ハラスメント の定義について	セクシュアル・ハラスメントとは、悪影響を及ぼすこと、性的な嫌いや侮辱にもづく行為、性差別の排除、相手の体 に及ぼす、性的な嫌いや侮辱の心。これらに、それがセクシュアル・ハ ラスメントに該当するかどうかは、事業場によって異なる。もしくはその場 合の労働環境によって異なる。
◆セクシュアル・ハラスメント の定義について	悪化によりよく働けるようになったらいいですか？
◆今後の期待（今後気づいたこと、新たに知ったこと、など）	

展開

まとめ

授業実践

他の班の取り組みを見る

- 作成した模造紙を机の上に置き、自由に見回る

共有

- 発表だけではわからない多くの意見
- どんなことを考えているのか幅広く知る

授業実践

まとめ

感想記入

ワークシート記入①

- これから異性との関わりで気をつけていくこと。

ワークシート記入②

- 今日の感想。
（初めて知ったこと、改めて気づいたことなど）

深い学びへ

この時間で何に気付いたか、何を学んだか

まとめ

授業を振り返ってみて

ワークシート記入①

女子

- 優しく接する
- お菓子をあげる
- 相手を尊重する
- 自分勝手なことをしない
- 口調に気をつける
- 気遣い
- 自分も同じことをしているのに他人に注意することがないようにしたい
- 「男だから」という言葉でくくらず差別しない
- 違いを理解する
- 同性、異性関係なく嫌なことはしない
- 相手がどう思っているかよく考えて接する
- 相手がされていやだと思うことは何か考えて、しないようにする

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

まとめ

授業を振り返ってみて

ワークシート記入②

女子

- 思ったよりも何も考えないで生活していたと思った。他の班の意見をみて確かにそう思うなと思ったことがあったのもっと言葉にできるようにしたいと思った。
- 最初のアンケートから異性の違外について分かったことがあった。色んな班を見て嬉しかったことや嫌なことも色々知れた。
- 男女での考え方の個人差が意外と大きかったことに驚きました。自分には良いと思ってても相手が不快に思うこともあるので気をつけていきたいです。
- 女子の方がされていやなことが多かったことにおどろいた。うれしかったことより嫌なことが覚えていた。
- 女子の中でも異性にされて嫌だったことがかなり多くて驚いた。自分の悪いところを見直し、相手に不快な思いをさせないようにしたい。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

まとめ

授業を振り返ってみて

ワークシート記入②

女子

- アンケートに結構違いがあって驚いた。
- もっと仲良くしたいです。
- 物をもらって喜んでくれる人が思っていたよりも多くてびっくりした。男女両方ともに仲良くしたいと思っている人が半分ぐらいいるのを初めて知った。
- 異性でも同性でもされてうれしかったことや嫌なことは同じことが多いなと気づきました。相手に嫌な思いをさせないようにされて嫌なことはしないようにしたいです。
- 相手が喜びそうなことも、嫌がりそうなことも良く考えて行動したいと思った。精神的な価値観の違いについてもよく考え直したいと思う。
- 男女の違いということで話し合いをしたけど、意外と男女ではっきり分かれていることは少なく感じた。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

まとめ

授業を振り返ってみて

ワークシート記入②

男子

- 言葉や態度で起こるトラブルが多いので、気をつけたい。
- 人は傷付けるものではない。
- 人と関わるときは男女関係なく自分がされていやなことはしない。
- 今日の授業で、男子と女子では話、行動に対する受けとり方が違うことが分かりました。
- 男女の差は思ったよりも多いことがわかった。
- やられてうれしいことは恥ずかしくがらずにやろうと思った。
- 自分はあまり嫌なことをされたことがなかったけど、他の子は結構被害をうけていたので自分は恵まれていると思った。
- 考え方、感じ方が少し違う異性とうまく付き合っていくために、言動に気をつけたい。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

3 まとめ

授業の進め方についての検証

取り扱った
内容

- ・高校2年生での「性に関する指導」としては、これまで県が行ってきた内容と照らし合わせると、少し稚拙な内容であった。
- ・世間で出ている異性とのトラブルについて、根本的なものは何なのかを改めて考えることができた。
- ・学校の実情を踏まえた内容を取り扱うことができた。
- ・これを踏まえた上で、次の学習内容につなげていくことができた。

事前
アンケート

- ・具体的な事項については授業内で検討するため、簡易に回答できるものにした。
- ・生徒のワークシートからもアンケート結果で初めて知る事項があったと記載が複数あり、効果的な提示ができた。
- ・Google Formを活用すれば、直前の時間に行うのではなく、当日の授業の導入で実施、回答し、即座に反映できるもので、必要に応じて活用する。

授業のねらいに対する検証

思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて理解したことを言ったり書いたりできるようにする。



- ・ブレインストーミングで全員意見を書き出したことや、関連した話し合いができた。
- ・思春期における身体面、心理面、行動面などの変化も改めて理解することができた。

異性とよりよく接するためにどのようなことに気をつければ良いだろう？



- ・授業者として、この考えについては、生徒それぞれの捉え方があるって良いと思っっている。答えは1つでは無い。
- ・ワークシートでの振り返りから、多くの生徒が異性への接し方について考えようとすることや、さらに行動を変容させていこうとする意見が多く出た。

授業の進め方についての検証

作成物の共有

- ・授業時間が迫ってきており、実施するか迷ったところであったが、結果として実施して良かった。
- ・生徒の感想からも、「他のグループの意見を見ることで気付くことがあった」、という内容の記載もあり、それぞれの意見を共有することに意義があることを知った。
- ・改善する点としては、ICTを活用することで、用具の準備や手間、移動する時間を取らずに閲覧できるので、積極的に活用していく。

ワークシートの活用

- ・できるだけ、作成物に専念できるように最小限の内容にした。
- ・配付するタイミングも、グループワークが終わってからにすることで、生徒の注意を他に注がないようにした。
- ・生徒の気付きや、学習の深まりを知るための良い手立てとなった。
- ・Formなどの活用で配付の手間や、回収の手間も減る。

授業の進め方についての検証

主体的、
対話的な学習

思考・判断・
表現力

- ・グループワークが多く、意見交換を通じて、作成物を作り上げていくため、主体的に対話的な学習を行うことができた。
- ・もっと主体性を持たせるためには、1グループの人数を減らし、発言回数を増やす工夫もできるが、学級の人間関係なども考慮し、慎重に行えるようにする。
- ・男女分けることのないグループ構成で進めることも考えられ、まともな方も出てくることから考えられる。
- ・最初のグループワークでの区分けで生徒が戸惑ったので、もっと簡易なものを提示できるように工夫する。
- ・ワークシート等の様子から、今回取り扱った内容についての概念を生徒自身が整理し、個人生活と関連付けて、生徒自身の課題を発見することができた。
- ・ここで出た課題を基に、行動を変容させようとする意識を表現することができた。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

この授業にあたり、多くの助言をいただいた
先生方に感謝申し上げます。



ご清聴ありがとうございました

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

最後に

- ・性に関する指導の現状と、これまで小学校から高等学校まで系統的に行ってきた学習内容と比べると逆行するような学習内容であったが、多くの生徒が異性や同性の考え方について改めて気付けることが多かった。
- ・生殖機能など身体的にも、知識など精神的にも発達しているところであるが、お互いを尊重することを学ぶことができ、良い機会になったと思う。
- ・今回はあくまでも、〇〇してはいけないというネガティブな発想ではなく、ポジティブに〇〇したら良いのではないか、という心掛けを持ってもらいたいと思い授業を行ったが、感想でも前向きな意見が多く、嬉しかった。

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業

Ⅲ 埼玉県「性に関する指導」授業研究会（小学校部会）

令和4年度埼玉県「性に関する指導」授業研究会（小学校）開催要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和4年11月9日（水）

4 会 場 小鹿野町立小鹿野小学校
秩父郡小鹿野町小鹿野 2678 番地

5 参加者 小鹿野町立小・中学校の教諭（体育科・保健体育科担当）、養護教諭等

6 日 程

- (1) 受 付 午後1時15分～ (職員玄関)
- (2) 開 会 午後1時30分～午後1時45分 (2階 図書室)
- (3) 公開授業 午後1時50分～午後2時35分 (4年松組教室)
- (4) 研究協議 午後3時00分～午後4時30分 (2階 図書室)

7 公開授業

学年	授業者	单元名
4年	神尾 沙英 教 諭 (T1)	体の発育・発達 (イ) 思春期の体の変化
	阿部 真子 養護教諭 (T2)	

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	教 育 指 導 幹	大松 武晴
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	咲間 悟
小鹿野町教育委員会学校教育課	指導主事兼副主幹	小野 仁士

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部教授	委 員 長	戸部 秀之
川口市立前川東小学校校長	副 委 員 長	岩澤奈々子
桶川市立加納小学校主幹教諭	委 員	高橋 陽太
八潮市立八幡小学校教諭	委 員	藤田 晃輔

(2) 体の発育・発達

(ア) 体の発育・発達

(イ) 思春期の体の変化

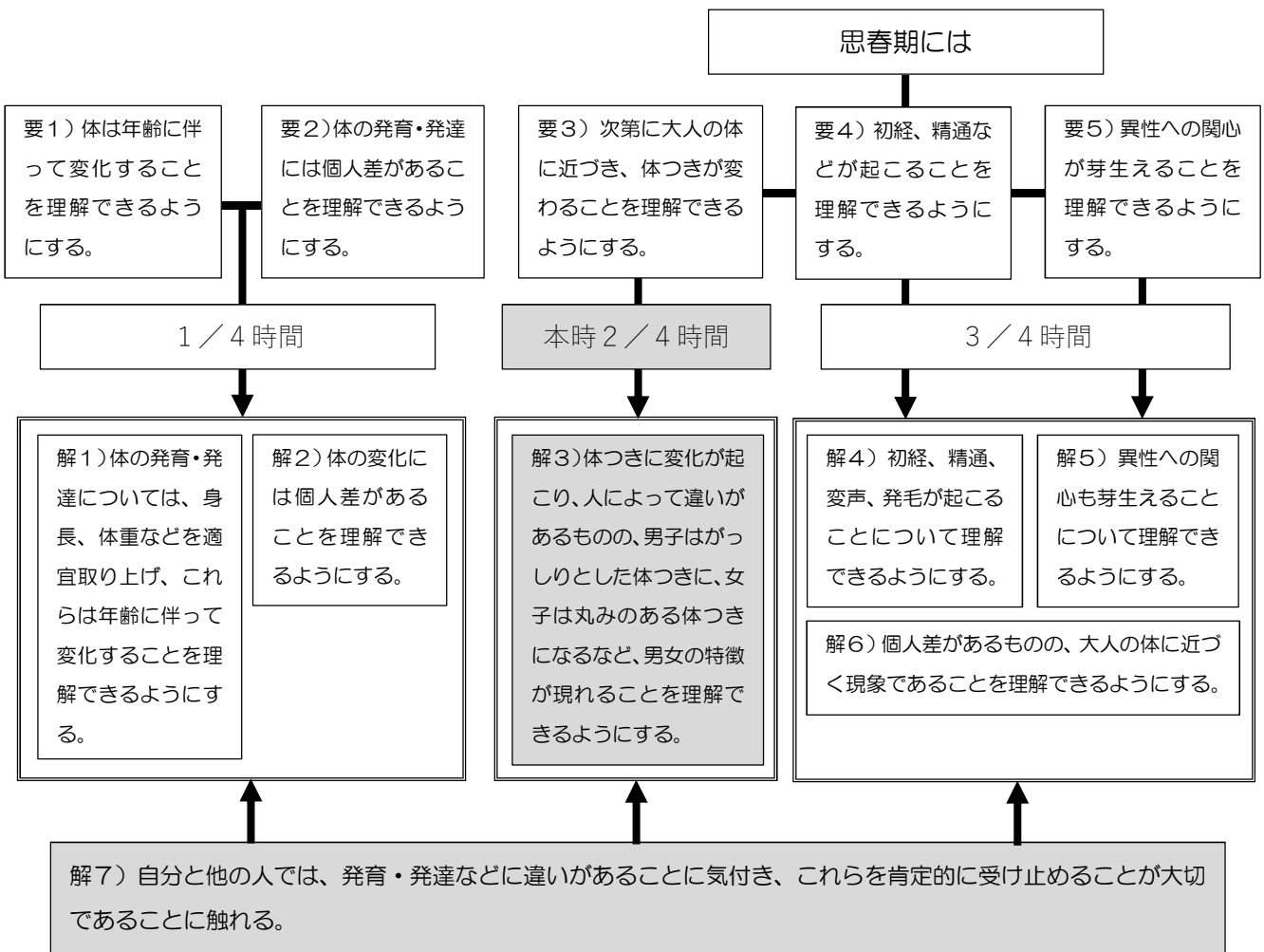
1 指導内容の系統性

中学校では、生殖にかかわる機能の成熟に伴う変化に対応した適切な行動について学習する。その前段階としての小学校段階は、体の発育・発達について、思春期の体の外に現れる変化や体の中に起こる変化、その個人差などを学習し、自分のこととして実感し、肯定的に受け止めることが大切であることに気付かせるよう配慮する。

2 指導内容の明確化

要) 学習指導要領
解) 同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、
①発達の段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。



3 知識を活用した学習

第2時は、思春期になると、体つきの変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることについて理解し、自分の成長や生活と比べたり、関係を見付けたりするなどして、それらを説明することができるようにすることを目指している。

【導入】(習得①)

〈シルエットクイズ〉

子どもと大人のシルエットを提示し、それぞれ男女の体のみを入れ替え、体つきの違いについて考えさせ、本時の課題に気付かせる。

〈本時の課題〉

私たちの体は、これからどう変化していくのだろうか。

【展開1】(習得②)

〈成長発見ゲーム〉

子どもと大人の体を比べ、体つきが変化しているところに丸をつける。そしてグループで意見を交換し、発表する。

〈指導すべき内容〉

- 思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いはあるものの、男子はがっしりとした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど男女の特徴が現れること。
- 思春期には、変声、発毛が起こること。

評価【知識・技能】(観察・学習カード)

思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いはあるものの男女の特徴が現れることについて、理解したことを言ったり、書いたりすることができる。

【展開2】(習得③)

〈おうちの人の体験談〉

保護者アンケートの「体つきの変化が現れたときの気持ちや悩み」を紹介し、体の変化の仕方や時期には個人差があることを理解する。

〈指導すべき内容〉

- 個人によって早い遅いがあるものの誰にでも起こる、大人の体に近づく現象であること。

【まとめ】(活用①)

〈ケーススタディ〉

体の発育・発達に関する不安や悩みについて、適切なアドバイスを考え、発表する。



評価【思考・判断・表現】(観察・学習カード)

体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達にかかわる生活の仕方から課題を見つけている。

第4学年松組 体育科（保健領域）学習指導案

令和4年11月9日（水） 第5校時 4年松組教室
 男子 10名 女子 9名 計19名
 小鹿野町立小鹿野小学校 教諭 神尾沙英（T1）
 養護教諭 阿部真子（T2）

1 単元名「体の成長とわたし」

2 単元について

本単元は、年齢に伴う体の変化と個人差、思春期の体の変化、体をよりよく発育・発達させるための生活について理解できるようにすること、体の発育・発達について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現することができるようにすること、体の発育・発達について、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組むことができるようにすることの3点をねらいとしている。具体的には、①身長や体重など、体は年齢に伴って変化すること、②思春期には体つきに変化が起こり、男女の特徴が現れること、③思春期には、初経・精通が起こり、異性への関心が芽生えること、④体をよりよく発育・発達させるためには、調和のとれた食事、適切な運動、休養・睡眠が必要であることについて理解を深める。

児童に起こる心や体の変化に対して、大人へと近づく大切な変化であり、個人差や男女差があること、友達と違って当たり前であることに気付かせ、不安を抱かせないように指導し、成長に対する喜びや期待を持たせたい。

3 児童の実態

本学級の児童は、男女の仲がとても良い。休み時間は毎日一緒にレクをし、授業中は男女関係なく勉強の教え合いをしている。学級の中で、ペアやグループを決める際にも、男子のみ女子のみで組むのではなく、自然と一緒に組んでいることが多い。しかし、仲が良すぎて、相手の気持ちを考えずに、なんでも友達に伝えてしまう児童が数名いる。教えてあげることも大切だが、「背中がみえている」「下着が見えている」などの大勢の場で口にされたら恥ずかしいことも、口にしてしまうこともある。また、性に関して関心があるのか、下品な言葉を言って笑いを誘おうとしたり、わざと友達の嫌がる場所を触って面白がったりする場面も多々見受けられることもあった。

このような現状を踏まえ、これから成長していく自分と友達の体のことについて理解を深め、プライベートゾーンを触られたり、指摘されたりすることが相手に不快を与えてしまうこと、また、自分自身の体の成長を喜んでもらえるように指導したい。

【アンケート結果】

令和4年10月12日（水）実施

	はい	いいえ
1 保健の学習は好きですか？	15	4
2 健康は大切だと思いますか？	19	0
3 おとなとこどもの体は、どこが違うと思いますか？		
体の大きさ、身長、体重、筋肉、丈夫さ		
4 自分の体がおとなに近づいていると感じることはありますか？	16	3
4-1 それは どんなどきですか？		
体が大きくなったとき、身長が伸びているとき、丈夫になったとき		
4-2 それについて何か不安に思ったり、なやんだりすることはありますか？	1	18
5 お家の人と自分の体の発育について話をしたことがありますか？	8	11
6 異性の友だちと仲よく過ごすことはできていますか？	19	0
7 異性と話すとき、はずかしくなることがありますか？	1	18
8 異性にちょっかいをだしておこられたことがありますか？	7	12
9 異性ともっと親しくなりたいと思いますか？	13	6
10 自分の体の発育について学習することは大切だと思いますか？	19	0

事前アンケートの結果から、全ての児童が自身の健康や今後の発育について大切だと感じている。本単元にかかわる体の変化については、身長や体重など目に見える変化に意識が偏っていることが分かった。発毛や変声、体つきに対して、実感を伴った変化を感じている児童は少ないため、本単元での学習を他人事として捉えてしまう可能性がある。そのため、これからの体と心の変化を自分ごととして捉え、正しい知識やそれを活用する資質・能力を身に付けさせたい。

4 教師の指導観

保健領域においては、単に知識を理解させるだけではなく、身に付けた知識を活かして、自らの健康課題について考え、行動・改善することができる資質や能力の育成を目指している。本単元において、現時点では、大人になるということを「背が高くなる」「力が強くなる」というように、サイズの変化として考えている児童が多い。そのようなサイズの変化としての捉え方から、体つきの変化、射精や月経などの生理的変化、さらに異性への関心などの心の変化と捉え方を広げ、これから自分に起こる変化を肯定的に受け入れられるよう知識の活用を促す学習活動を充実させる。そのために、以下の具体的な手立てを行う。

- ・児童にアンケートをとり、実態を把握する。体や心の変化を身近なものとして捉え、主体的に学習に取り組むことができるよう活用する。
- ・児童の学習に対する興味や関心を高めたり、児童の実態に合った支援をより効果的に行ったりするため、担任と養護教諭が連携し、TTで授業を行う。
- ・自分や友だちの体について恥ずかしく感じるため、学習をクイズ化、ゲーム化して恥ずかしさを和らげる。
- ・児童が体の変化を身近なこととして、また自分のこととして、より肯定的に受け止められるよう、体つきの変化に関する体験談について、保護者アンケートを取り入れる。
- ・知識を身に付けるだけでなく、習得したことを生活の中でいかせるよう、学習の終わりには、ケーススタディを取り入れ、みんなの考えを交流し、理解を深めることができるような学習活動を取り入れる。

5 単元の目標

- (1) 年齢に伴う体の変化と個人差、思春期の体の変化、体をよりよく発育・発達させるための生活について理解することができるようにする。 【知識及び技能】
- (2) 体の発育・発達について、課題を見付け、その解決に向けて考え、これを表現することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 体の発育・発達について、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③思春期には、初経、精通、変声、発毛が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ④体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達によい運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	①体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見付けている。 ②体の発育・発達について、自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして、体をよりよく発育・発達するための方法を考えているとともに、考えたことを学習カードなどに書いたり、発表したりして友達に伝えている。	①体の発育・発達について、課題の解決に向けての話合いや発表などの学習や資料などを調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。

7 単元の指導と評価計画（全4時間） 本時は○印

時	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について、理解できるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 身長並び順クイズを行う 2 本時のねらいを確認する。 3 1年～4年時の身長の伸びグラフを作成する。 4 友達と比較して気付いたことを話し合う。 5 いくつかの身長の伸びを示したデータ資料で、身長の伸び方について考える。 6 身長が急に伸びる時期や変化する量は一人一人違うことを知る。 <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身長や体重は、年齢に伴って変化すること。 ・体の変化には個人差があること。 <ol style="list-style-type: none"> 7 学習のまとめをする。 8 体の発育・発達に関する悩みについて、適切なアドバイスを考え、発表する。 9 振り返りをする。 				観察 学習カード
②	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることについて、理解できるようにする。 ・体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見付けることができるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 シルエットクイズを行い、男女の体つきの違いについて考える。 2 本時のねらいを確認する。 3 これから起こる体つきの変化について予想する。 4 成長発見ゲームを行う。 <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いはあるものの、男子はがっしりとした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど男女の特徴が現れること。 ・思春期には、変声、発毛が起こること。 <ol style="list-style-type: none"> 5 思春期に起こる体つきの変化について確認する。 6 身近な大人の体験談を聞く。 7 体の変化が起こる時期については、個人差があることを知る。 <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人によって早い遅いがあるものの誰にでも起こる、大人の体に近づく現象であること。 <ol style="list-style-type: none"> 8 学習のまとめをする。 9 体の発育・発達に関する悩みについて、適切なアドバイスを考え、発表する。 10 振り返りをする。 				学習カード (授業後)
					観察 学習カード

3	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、初経、精通、変声、発毛が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解できるようにする。 ・体の発育・発達について、自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして、体をよりよく発育・発達するための方法を考えているとともに、考えたことを学習カードなどに書いたり、発表したりして友達に伝えることができるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 声当てクイズを行い、体の中の変化について考える。 2 本時のねらいを確認する。 3 初経や精通について知る。 4 体の中に起こる変化について考える。 <div data-bbox="225 663 1098 772" style="background-color: #90EE90; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、初経、精通が起こること。 ・個人差があるものの、大人の体に近づく現象であること。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 5 事例（異性と手をつないでみよう）をもとに、思春期には、異性への関心が芽生えることを知る。 <div data-bbox="225 853 1098 963" style="background-color: #90EE90; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、異性への関心も芽生えること。 ・個人差があるものの、大人の体に近づく現象であること。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 6 学習のまとめをする。 7 学習した内容を活用し、将来の自分へのメッセージを考える。 8 振り返りをする。 	③			観察 学習カード
4	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達により運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠などが必要であることについて、理解できるようにする。 ・体の発育・発達について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習や資料などを調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとすることができるようにする <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アンケート結果から、本時のねらいをつかむ。 2 給食の献立から、体がよく育つために必要な食べ物について調べる。 3 よりよい成長に必要な運動の仕方について話し合う。 4 休養と睡眠の役割について資料で調べる。 5 学習したことを自分の生活に当てはめて課題を見付け、これからの生活の仕方について、解決方法を考える。 <div data-bbox="225 1697 1098 1807" style="background-color: #90EE90; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠などが必要であること。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 6 学習のまとめをする。 7 振り返りをする。 	④		①	学習カード (授業後) 観察 学習カード

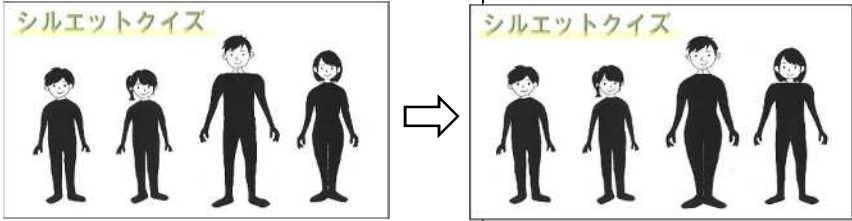

8 本時の学習と指導 (2 / 4)



(1) ねらい

- ・思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることについて、理解できるようにする。 **【知識及び技能】**
- ・体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見付けることができるようにする。 **【思考力、判断力、表現力等】**

(2) 資料及び準備するもの ワークシート、提示資料

(3) 展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点 (指導○ 評価◆)	
		T 1	T 2
導入 5分	<p>1 子どもと大人、男女の体つきの違いについて考える。</p> <p>シルエットクイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと大人のシルエットを提示し、それぞれ男女の体のみを入れ替える。  <p>C:大人の体に違和感がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人のシルエットはなぜ違和感があるのか発表する。 C:男の人は肩幅が広い、大きい C:女の人はおしりが丸い 	<p>T 1 ○子どもと大人のシルエットを提示し、それぞれ男女の体のみを入れ替え、体つきの違いについて考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもは体つきだけでは男女の識別が難しいことを捉えさせる。 ・大人は男女の体つきに違いが見られ、シルエットでも男女が識別できることを確認する。 <p>T 2 ○全員がシルエットのような体つきになるわけではないことを押さえ、個人差への配慮をする。</p> <p>T 2 ○「思春期」という言葉の意味を知らせる。</p>	
展開 25分	<p>2 本時の学習のねらいを確認する。</p> <p>【学習課題】 私たちの体は、これからどう変化していくのだろうか。</p>	<p>T 1 ○不安や恥ずかしさもあると思うが、自分にとってとても大切な勉強であることを伝える。</p>	
	<p>3 これから起こる体の変化について予想する。</p> <p>4 体つきの変化について考える。</p> <p>成長発見ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと大人の体を比べ、体つきが変化しているところに丸をつける。 ・グループで意見を交流し、黒板のイラストで成長している部分に印をつける。 <p>主たる学習内容 (知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いはあるものの、男子はがっしりとした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど男女の特徴が現れること。 ・思春期には、変声、発毛が起こること。 	<p>T 1 ○シルエットクイズを振り返りながら、体にどんな変化が起こるのか予想を立てさせる。</p> <p>T 1 ○恥ずかしさを軽減させるため、ゲーム性を持たせ、体つきの変化を見つけるよう指示する。</p> <p>T 2 ○困っている児童がいたら、シルエットクイズを想起させ、適宜助言を行う。</p> <p>◆思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。 【知識・技能】</p> <p>「努力を要する」状況 (C) と判断される児童への指導の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルエットクイズや板書を振り返らせたり、資料等で具体的に説明したりする。 	

<p>5 思春期における男女の体つきの変化について確認する。</p> 	<p>T 1 ○体つきの変化について説明を入れながら、答え合わせを行う。</p>	
<p>6 身近な大人の体験談を聞く。</p>	<p>T 1 ○保護者アンケートから「体つきの変化が現れたときの気持ちや悩み」を紹介する。</p>	<p>T 1 ○前時の身長の時と同様、変化の仕方やあらわれる時期には男女差や個人差があることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> これから起こる自分の体の変化に対して、嫌悪感や劣等感を抱かないように配慮する。
<p>7 体の変化が起こる時期には個人差があることを知る。</p>	<p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人によって早い遅いがあるものの誰にでも起こる、大人の体に近づく現象であること。 	<p>T 1 ○本時の課題から、これから自分たちの体がどう変化するか振り返らせ、児童と一緒にまとめを作成する。</p>
<p>8 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 思春期に起こる体の変化について、ワークシートに記入する。 	<p>男性の体験談（男子のなやみ）</p> <p>まわりより成長が早い方だったので、修学旅行でお風呂に入った時にみんなにからかわれ、いやな思いをしました。</p> <p>女性の体験談（女子のなやみ）</p> <p>友達から「おしりがデカイ」とよくからかわれていた。おしりが大きいことが後ろから見て「良くない」「変」だと思っていた。</p> <p>女性の体験談（女子のなやみ）</p> <p>友達よりはやく目がくらんだので、どう見えているのか、下着がすけていないか不安だった。小学生の頃は、背も低く、体つきの変化はあまりありませんでした。まわりの子は膝がくらんでブラジャーをしていたりしたので、自分は大丈夫？と不安になることもありました。</p>	<p>私たちの体は、男性はがっしりとした体つき、女性は丸みのある体つきに変化し、変声や発毛などが起こる。体の成長の仕方やあらわれる時期には個人差がある。</p>
<p>9 体の発育・発達に関する不安や悩みについて、適切なアドバイスを考え、発表する。</p> <p>ケース1：わきや性器に毛がはえているから、だれかにからかわれそう。</p> <p>ケース2：おしりが大きくなってきた。変なのかな。</p> <p>ケース3：なぜか声が低くなってきた。声を出すのがはずかしい。</p> <p>ケース4：友達とくらべて、むねが大きくなってきてははずかしい。</p> <p>C：体の変化はみんな起こることだから心配しなくて大丈夫だよ。</p> <p>C：個人差があるから友達と比べなくていいんだよ。</p>	<p>T 1 ○保護者アンケートの「体つきの変化が現れたときの悩み」に対して、アドバイスを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 異性の悩みも理解できるよう、男女どちらの悩みにもアドバイスを促す。 本時の学習を生かしたり、自分の発育・発達と結び付けたりしてアドバイスを書くよう伝える。 <p>◆体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達にかかわる生活の仕方から課題を見つけている。 【思考・判断・表現】</p> <p>「努力を要する」状況（C）と判断された児童への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の身長や体重などの年齢に伴う変化や生活の仕方を振り返らせ、課題に気付けるように促す。 <p>T 1 ○児童の記述から意図的に指名し、適切なアドバイスを共有する。</p>	<p>まとめ 15分</p>

<p>1</p> <p>もうすぐ、林間学校があるんだ。ぼくは、<u>成長の仕方</u>がわからないから、お風呂に入るときにどれかからかわれそう...。それが心配でみんなと入りたくない。</p> <p>成長の仕方や時期は、<u>個人差</u>があるから気にしないで。</p>	<p>2</p> <p>顔が大きくなってきて、友達に笑われちゃった...。わたしって、<u>女</u>なんだよ。心配に悩んでる。</p> <p><u>女</u>は<u>せい</u>は<u>れ</u>の<u>あ</u>る<u>体</u>になるから心配しない。</p>	<p>3</p> <p>なんでだろう。なぜだか、声がだんだん低くなってきちゃった。発表するときや、歌を歌うときに<u>男</u>の子のうたがはきかない。</p> <p><u>心</u>は<u>男</u>の子に<u>あ</u>ら<u>わ</u>れ<u>る</u>よ。<u>心</u>は<u>女</u>の子に<u>あ</u>ら<u>わ</u>れ<u>る</u>よ。</p>	<p>4</p> <p>周りの友達と比べると、おねが大きいって思われては可哀しいな。体育の時、半そでになるのがいやだよ。</p> <p>周りのことと<u>自分</u>の<u>個人差</u>があるから。</p>	
<p>10 ふりかえり</p>	<p>T2〇体の変化は誰にでも起こることなので、心配しなくてよいことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問したいことや不安なことがあったら、いつでも相談してよいことを伝え、日常における個別の指導につなげる。 <p>T1〇本時の学習内容の定着を図り、次時につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身長や体つきだけでなく、体のはたらきや心にも変化が起こることについて触れる。 			
<p>今日の学習では<u>おとなになるという変化</u>が来ることを知りました。</p>				
<p>今日の<u>授業</u>で<u>成長のしかた</u>が<u>ちがう</u>ことがわかりました。</p>				

9 板書計画

体の成長とわたし
思春期にあらわれる変化

私たちの体は、これからどう変化していくのだろうか。

シルエットクイズ

① 私たちの体は、男性はがっしりとした体つき、女性は丸みのある体つきに変化し、変声や発毛などが起こる。体の成長の仕方やあらわれる時期には個人差がある。

体つきの変化

< 男子のみ > < 男女共通 > < 女子のみ >

アドバイス

ケース1

アドバイス

ケース2

アドバイス

ケース3

アドバイス

ケース4

アドバイス

思春期にあられる変化

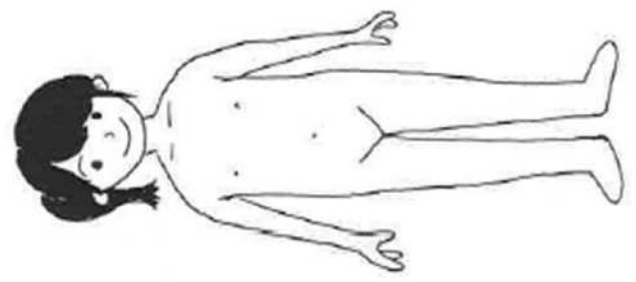
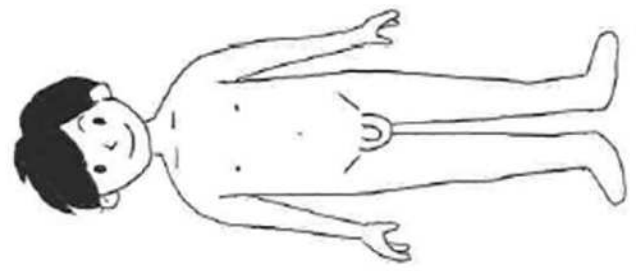
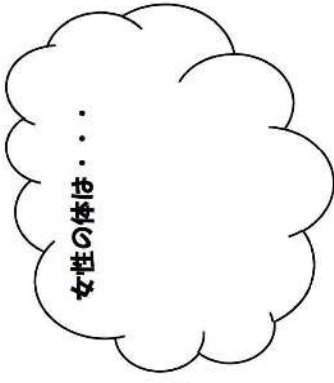
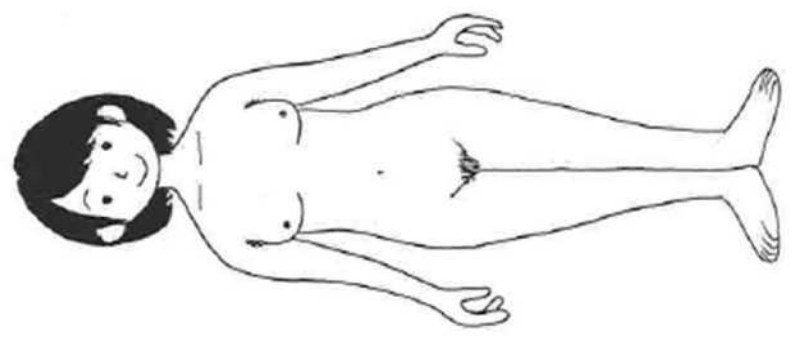
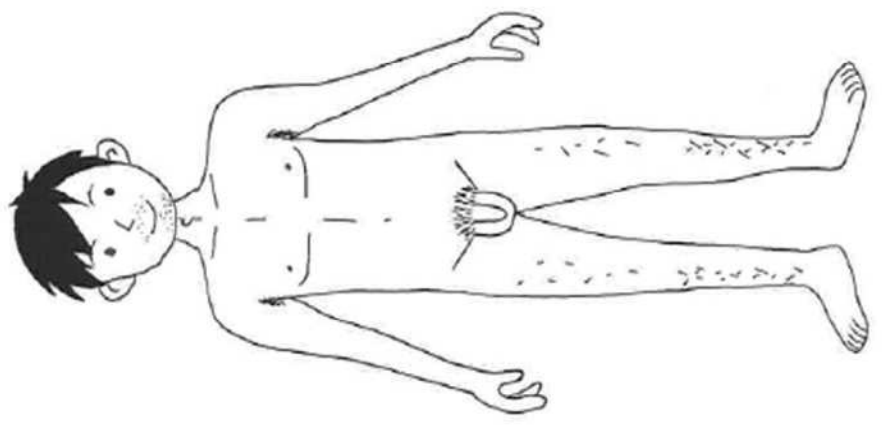
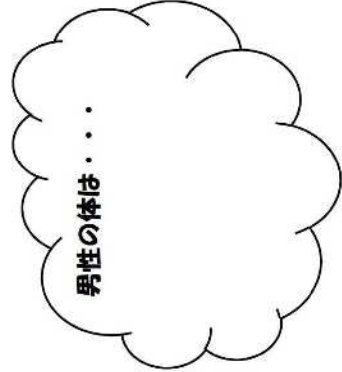
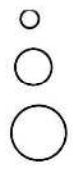


Blank box for notes, containing a small circle icon.

男性の体は・・・

成長の仕方や成長が起こる時期には、
がある。

女性の体は・・・



おなやみ相談タイム

体のことでなやんでこまっている友達に、みんながアドバイスをしてあげよう。これは、じっさいにみんなのお家の人がなやんでいたことだよ。

1

もうすぐ、林間学校があるんだ。ぼくは、わきや性器に毛がはえているから、お風呂に入るときにだれかにかからかわれそう・・・。それが心配でみんなと入りたくないな。



2

おしりが大きくなってきて、友達に笑われちゃった・・・。わたしたって、変なのかな。よくないことなのかな。



3

どうしてだろう。なぜだか、声がだんだん低くなってきちゃった。発表するときや、歌を歌うときに声を出すのがはさかしいな。



4

周りの友達とくらべて、もねが大きくなってきちゃってはずかしいな。体育の時、半そでになるのがいやだよ～。



1～3班の人が取り組もう！（早く終わったら、3・4番もやってみよう。）

4～6班の人が取り組もう！（早く終わったら、1・2番もやってみよう。）

ふりかえり

保健の学習 保護者アンケートご協力をお願い

これから保健の授業で「体の発育・発達」について学習していきます。
子どもたちにとっては少し照れてしまうような内容も扱いますが、思春期の入り口にさしかかっている
4年生にとって、今後、心や体がどのように変化していくか知ることは重要なことです。
個人差があること、決して恥ずかしいことではないということを伝え、
自分自身と周りの人たちを大切にする気持ちを育てたいと思っています。

大人になるにつれて起こった体つきの変化について、
保護者の皆様の体験談等を教えていただけたらと思います。ご協力よろしくお願いします。

4年 組 児童名 _____

保護者名 _____

- 1 **女性用** 体つきの変化が現れたとき、どんな気持ちでしたか？ また、不安に思ったり悩んだりしたことはありましたか？ エピソード等あればお聞かせください。
(友達よりはやく胸がふくらみ、気にしていた … など) ※紹介する際は、匿名で紹介します。

- 2 **男性用** 体つきの変化が現れたとき、どんな気持ちでしたか？ また、不安に思ったり悩んだりしたことはありましたか？ エピソード等あればお聞かせください。
(声変わりが遅く、声が高いのが恥ずかしかった … など) ※紹介する際は、匿名で紹介します。

- 3 これから思春期を迎えるお子様へメッセージをお願いします。(メッセージはあとで切り取り、お子様に渡します)

^

より

ご協力ありがとうございました。
この用紙を封筒に入れ、〇〇月〇〇日(〇)までに提出をお願いします。

Ⅲ 埼玉県「性に関する指導」授業研究会（中学校部会）

令和4年度埼玉県「性に関する指導」（保健教育）授業研究会実施要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和4年10月28日（金）

4 会 場 所沢市立所沢中学校
所沢市けやき台2-44-1

5 参加者 所沢市立中学校の教諭（保健体育科担当）、養護教諭等 ※各校1名まで

6 日 程

- | | | |
|----------|-----------------|-------------|
| (1) 受 付 | 午後1時00分～ | (2階 大会議室) |
| (2) 開 会 | 午後1時20分～午後1時40分 | (2階 大会議室) |
| (3) 公開授業 | 午後1時50分～午後2時40分 | (4階 1年3組教室) |
| (4) 研究協議 | 午後3時00分～午後4時30分 | (2階 大会議室) |

7 公開授業

学年	授業者	単元名
1年	落合和香奈 教 諭 (T1)	(2) 心身の機能の発達と心の健康 (イ) 生殖に関わる機能の成熟
	三好明日美 養護教諭 (T2)	

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	教 育 指 導 幹	大松 武晴
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	咲間 悟
所沢市教育委員会保健給食課	指 導 主 事	畑中 結季

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部教授	委 員 長	戸部 秀之
川口市立前川東小学校校長	副 委 員 長	岩澤奈々子
深谷市立深谷中学校主幹教諭	委 員	松島 直司
春日部市立東中学校教諭	委 員	江夏 彩香

1 指導内容の系統性

小学校では、体の発育・発達の一般的な現象や個人差、思春期の体つきの変化や初経、精通、異性への関心が芽生えることなどを学習している。また、心も体と同様に発達し、心と体は密接な関係があることなどを学習している。

2 指導内容の明確化

ア) 知識及び技能

要)：学習指導要領
解)：同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。

要1) 思春期には、

要2) 内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟することを理解できるようにする。

要3) 成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要になることを理解できるようにする。

解1) 下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられ、妊娠が可能になることを理解できるようにする。

身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し

解2) 性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。

《指導案作成》
4 / 4 時間

イ) 思考力、判断力、表現力等

要4) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。

解3) 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。

3 知識を活用した学習活動（4 / 4）

第1時では、小学校で得た知識を元に、思春期に起こる体の変化が下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きによって生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠や出産が可能となるような成熟が始まること理解し、単元の学習活動を始める。また、「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について考える。第2、3時では、前時で出た課題や問題点から一人ひとり課題を選び、課題や解決方法についてスライドにまとめる。本時では、スライドにまとめたものを発表し合い、対話を通して意見を出し合い、課題解決に向けて思考を深め、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要になることを理解できるようにするため、次の手立てを講ずることとした。

導入

習得① 小学校で得た知識を元に、思春期には、生殖器が急速に発育し生殖機能が発達することで、男子には射精（精通）、女子には月経（初経）が起き、妊娠や出産が可能となるような成熟が始まることを理解する。

展開① 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について考え、自分の考えを言ったり、書いたりして学級内で共有する。→尊重し合うためには、お互いの事を理解し合う必要がある。そのために、男女の心身の発達や変化、違いがあることに気づき、学習していく必要感を持たせる。



展開②

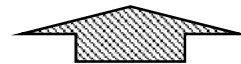
「異性を尊重し合い生活していくためには」という共通のテーマを通して、主体的に課題設定し、タブレットを用いて探究学習を行い、スライドにまとめる。

習得②

主体的に設定した課題（生殖機能の発達、受精と妊娠、性情報の対処法、心の発達に伴う性衝動等への対処など）について各自で調べ理解を深める。

活用①

主体的に設定した課題について、習得した知識を自分の生活にあてはめ、「異性を尊重し合い生活していくため」に理解してほしいことや課題解決に役立てながら各自でスライドにまとめる。



まとめ

展開③

各自でまとめたスライドを2人1組でペアを替えながら発表し合う。

習得③

自分の調べていない知識を積極的に共有し、知識の整理を行い、深い学びに繋げる。

活用②

自分のまとめたことや他者の発表を聞いて理解したことを言ったり、書いたりしてまとめる。

評価（主体的に取り組む態度）【スライド】

生殖機能の発達や心身の発達について課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている。

評価（知識・技能）【ワークシート】

思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。

評価（思考・判断・表現）【スライド発表】

心身の機能の発達について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、発達の状況に応じた健康を保持増進する方法を選択し、それらを伝え合っている。

保健体育科（保健分野）学習指導案

令和4年10月28日（金）第5校時 1年3組教室
 第1学年3組 男子19名 女子16名
 所沢市立所沢中学校 教諭（T1） 落合 和香奈
 養護教諭（T2） 三好 明日美

1. 単元名「心身の機能の発達と心の健康」（イ）生殖にかかわる機能の成熟

2. 単元について

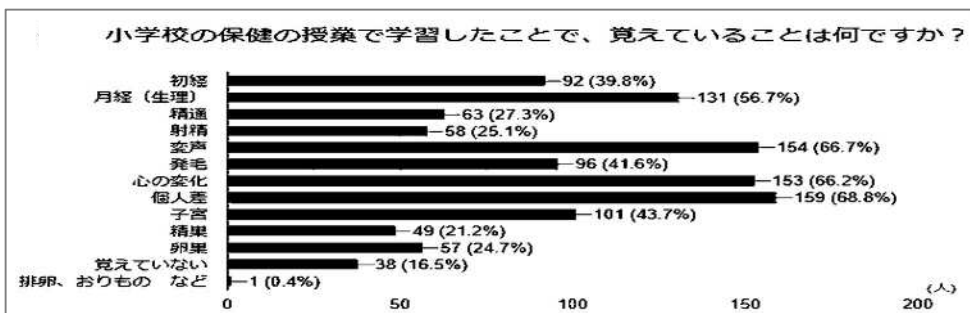
中学生期は、身体的な成熟に伴う生殖機能の発達に応じて性衝動が生じたり、自己の認識や異性への関心などが高まったりする時期である。また、体の変化が著しく個人差も大きいことから、その変化に戸惑い、不安や悩みをもつようになる時期でもある。本単元では、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられ、妊娠が可能になることを科学的に理解し、性的な発達に対応して、異性の尊重、性情報への対処など、性に関する適切な態度や行動の選択が必要であることを理解し、体や心の変化を肯定的に受け止め、自分や周りの人を大切に思いやる気持ちを育てたい。

3. 生徒の実態

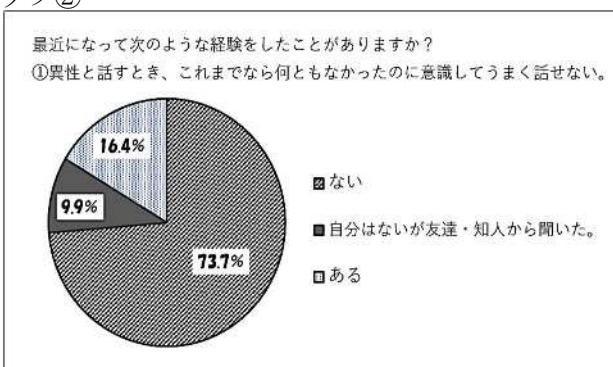
本校生徒は、近隣の2つの小学校を中心に複数の小学校から進学してくる。小学校での性に関する学習は、授業で学習した内容より、宿泊学習前の指導が記憶に残っている生徒が多い。そのため、グラフ①でも分かるように、生理に関しての内容を記憶している生徒が多く、精通や射精はその半分以下であり、生徒に定着している知識の量に差があることが分かる。本校生徒は、明るく、前向きに生活している生徒が多く、学習に対しても関心が高い。また、自分の身近な話題に対して、真摯に受け止め課題を発見し解決したいと積極的に質問したり、自ら調べたり、友達同士話し合う姿が見られる。グラフ②③でわかるように、全体の一部の生徒以外はまだ異性に関心が低く、休み時間も男女仲良く生活している姿も見られる。しかしながら、スクールタクトにも表れているように、異性尊重への課題点として「男女で壁を感じる」、「お互いの体や気持ちを知らない」と感じている生徒が多く、これらの課題点を自分事として捉え、課題解決していきけるような学習活動の工夫をしていきたい。

【アンケート結果】

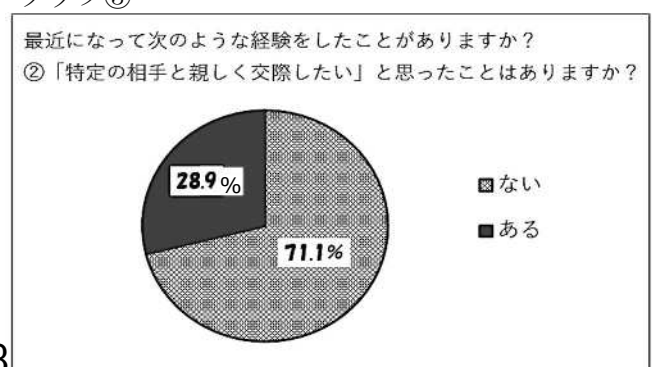
グラフ①



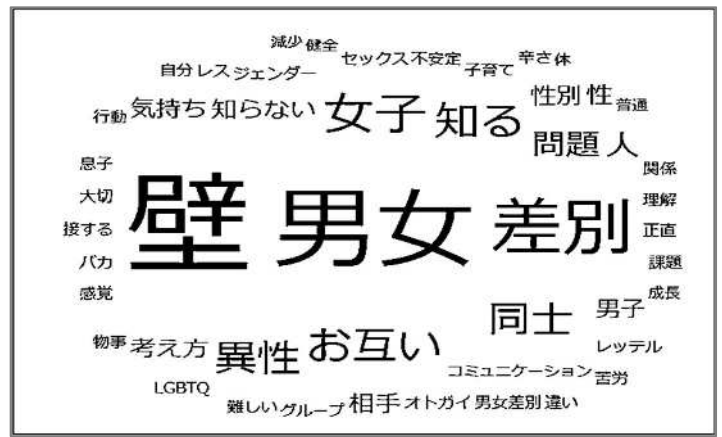
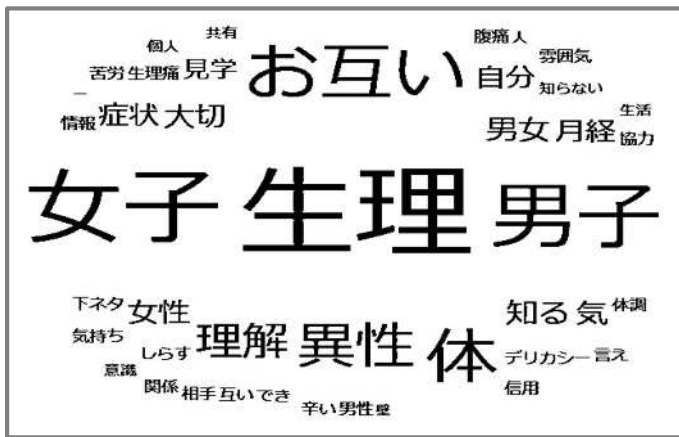
グラフ②



グラフ③



スクールタクトより、生徒の考える異性尊重への課題や問題点（左：男子、右：女子）



4. 教師の指導観

(1) 知識及び技能

下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられ、妊娠が可能になることや、性衝動、性情報への対処などについて、「異性を尊重し合い生活していくためには」というテーマを通して、性や体について学ぶ意義を考え、主体的に課題設定し、タブレットを用いて探究学習を行い、必要感を持って主体的に学びながらスライドにまとめる。まとめたものを2人1組になってペアを替えながら発表し合い、対話的な活動を通して、課題解決のための知識や思考を深め、性に関する適切な態度や行動の選択が理解できるようにする。また、異性を尊重した望ましい人間関係を構築する資質や能力の育成を目指す。

(2) 思考力、判断力、表現力等

心身の機能の成熟における事柄や情報について、探究学習を通して、課題の発見、解決方法を考え、思考、判断するとともに、自分の考えを伝え合う活動を通して、現在及び将来の生活における健康の課題に直面したときに対処できるような資質や能力を育成することにつなげる。

(3) 学びに向かう力、人間性等

ICTや学習カード、グッジョブカードなど教具を工夫し、互いに助け合い、教え合うことで、安心して学習できる環境を作り出すとともに、生徒自身が自他の健康に関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じての実践力の基礎を養う。

5. 単元目標

- (1) 思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること、成熟の変化に伴う適切な行動が必要となることについて理解することができるようにする。 <知識及び技能>
- (2) 心身の機能の発達と心の健康にについて、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>
- (3) 心身の機能の発達と心の健康について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。 <学びに向かう力、人間性等>

6. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
<p>①思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①生殖に関わる機能の成熟について、習得した知識を自他の生活に適用したり、解決方法を考えたりして、適切な方法を選択し、それらを伝え合っている。</p> <p>②性機能の成熟について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、スライド元に他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。</p>	<p>①心身の機能の発達と心の健康について、課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている。</p>

7. 単元の指導と評価計画（4時間）本時は○印

時	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることについて、理解できるようにする <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本時のねらいを確認する。 2 生殖機能の成熟について理解する。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #c8e6c9; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となること。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 3 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について考える。 4 本時のまとめ 	①			ワークシート スクールタクト 観察
2	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能の発達と心の健康について、課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとすることができるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前時の復習、本時のねらいを確認する。 2 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点から課題を選び、探究学習を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【探究学習のテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子の体のしくみ ・女子の体のしくみ ・性情報について ・付き合うことについて ・受精と妊娠のしくみについて ・その他 </div> <ol style="list-style-type: none"> 3 課題や問題点、解決方法をスライドにまとめ、伝え合う準備 			①	ワークシート スライド 観察

	<p>をする。</p> <p>4 本時のまとめ</p>				
3	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生殖に関わる機能の成熟について、習得した知識を自他の生活に適用したり、解決方法を考えたりして、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前時の復習、本時のねらいの確認をする。 2 課題とその解決方法をスライドにまとめ、伝え合う準備をする。 3 スライドを用いて隣同士で発表し合い、グッジョブカードで評価し合う。 4 自他の評価から、筋道を立てて伝え合うことができるように発表内容の加筆修正を行う。 5 本時のまとめ 		①		<p>ワークシート</p> <p>グッジョブカード</p> <p>スライド</p> <p>観察</p>
④	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解することができるようにする。 ・機能の成熟について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、スライド元に他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合うことができるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点を振り返る。 2 本時のねらいと学習内容を確認する。 3 2人1組でペアを替えながらスライド発表を行う。 <p>4 習得した知識を確認、整理する。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #90EE90; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。 </div> <p>5 本時のまとめ</p>		②		<p>ワークシート</p> <p>グッジョブカード</p> <p>スクールタクト</p> <p>観察</p> <p>ワークシート (授業後)</p>

8. 本時の学習と指導（4 / 4）

(1) ねらい


- ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解することができるようにする。 <知識及び技能>
- ・機能の成熟について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、スライド元に他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合うことができるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

(2) 資料及び準備するもの

パワーポイント、ワークシート、グッジョブカード、タブレット（発表用スライド、スクールタクト）

(3) 展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点・評価（指導○ 評価◆）	
		T 1 教諭	T 2 養護教諭
導入 (5分)	<p>1 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点を振り返る。</p> <p>・「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について、生徒の考えをスクールタクトのワードクラウドにして提示する。</p> <p>(男子) (女子)</p> 	<p>T 2 ○1時間目に生徒が回答した「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について、スクールタクトのワードクラウドにまとめたものを共有し、男女それぞれの考えを確認する。</p> <p>○男女とも、男女で「壁」を感じていること、お互いに知らないことが課題であると感じていること、お互いに理解する必要があると感じていることについて確認する。</p> <p>○異性を尊重するためには、相手を知ること、自分を知ってもらうことが大切であることを伝え、スライド発表への意識づけをする。</p>	
	<p>2 本時のねらいと学習内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>・思春期における心身の成長についてまとめよう。</p> <p>・思春期の変化に応じた適切な行動とは何だろう。</p> </div>	<p>○本時の課題を黒板に掲示する。</p>	
	<p>3 2人1組でペアを替えながらスライド発表を行う。</p>	<p>T 1 ○発表方法、ワークシートの記入について説明し、学習の見通しを持たせる。</p> <p>T 2 ○助言が必要な生徒への支援を行う。</p>	

展開
(30分)

・発表の方法とワークシートの記入について確認する。

- ① 1人目発表 (2分)
- ② 質疑応答及び感想を伝え合う (1分)
- ③ 2人目発表 (2分)
- ④ 質疑応答及び感想を伝え合う (1分)
- ⑤ グッジョブカード記入、交換 (2分)
- ⑥ ワークシート記入
- ⑦ 移動

- ・ペアを決める際にわかりやすくなるよう、テーマ毎にスライドの表紙を色分けする。
- ・ワークシートの全ての項目を埋められるように自身でテーマを選んで聞きに行く。



T1 T2

- 女子が席を移動し、話を聞きたいテーマの席に座る。
- 1度目のペアで発表し終わったら、男子が席を移動する。
- 生徒の能動性が発揮されるよう、また生徒の思考の流れが中断しないよう、タイマー等で時間を区切らずに生徒の様子を見ながら声かけを行う。



◆性機能の成熟について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、スライド元に他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。【思考・判断・表現】(スライド、観察)

「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て
 ・発表原稿を確認するよう促し、スライドの内容に合わせてできる部分について発表させるようにする。
 ・相手の発表の際に質問や意見を考えながら聞くためにメモを取るよう助言する。

まとめ
(15分)

- 4 習得した知識を確認、整理する。
- ・自席に戻る。
- ・生徒の発表や養護教諭の説明を聞き、ワークシートを整理する。

主たる学習内容 (知識)

- ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。

T2 ○生徒の得た知識の確認をする。

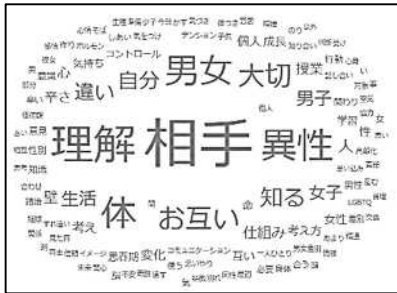
- パワーポイントを活用して、知識の整理と確認を行う。



- 思春期におけるこれらの変化は、新しい生命を作り出す大人の体に成長している喜ばしい変化であること、また、性意識の違いを理解し、気持ちをコントロールしなければならないことを伝える。

T1 ○パワーポイントによる説明のペースに遅れている生徒がいないか確認する。

・「異性を尊重し合い生活していくため」に
わかったことや自分ができることを考
え、スクールタクトにまとめ、クラスで共
有する。



- ・学習したことを振り返り、ワークシート
に記入する。
- ・生徒同士で感想を言い合い、深い学びに
繋げる。

◆身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあ
るものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高ま
ったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処
など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となる
ことについて、理解したことを言ったり書いたりして
いる。【知識・技能】(スライド、ワークシート)

※授業後

T2○「異性を尊重し合い生活していくため」に今日ま
での学びを振り返り、思いやりを持って生活して
いけるよう伝える。

9 板書計画

めあて

思春期における心身の成長についてまとめよう。

まとめ

知識の整理

体の変化とホルモン 教科書P48

男子の生殖機能の発達 教科書P50

女子の生殖機能の発達 教科書P51

性意識の変化 教科書P52

男性・女性ホルモンの分泌一脳が刺激を受ける
→ **性意識** に変化が現れる

異性への関心、性的なものへの関心が高まる
→ **性的欲求、性衝動**

性意識の **違い** を理解する。
→ **コントロール** しなければならない。

男女差、個人差がある

性情報への対処と行動 教科書P53

身の回りにには、性情報があふれている。
性情報を得たとき、**信頼できる情報なのかを判断し、責任ある行動を選択するために、大切なことはどんなことか。**

↓

- 不適切な内容があることを知る。
- 正しい知識を身に付ける。
- 責任ある行動選択ができるようにする。
- 危険性を考えてSNSなどを利用する。

10 生徒感想

- ・男女それぞれ心身ともに変化の現れる時期だからこそ、無意識のうちに作っている「壁」がなくなるように、異性のことについて調べたところ、生理、受精、付き合うこと、女子の意見を聞くことで理解を深められ、発表では調べたことを伝わりやすいようにまとめることができました。
- ・男女の壁や差別をなくすために、男の体・女の体のしくみ、性情報などについて学んだ。男や女にしかない体の部分や、思考の違いを知れたので、それを活かして今後生活していきたい。また、正しい知識を学んでいき、これからもっと異性との生活を楽しく過ごしていきたい。
- ・この授業では、今まで知らなかった生理のことや妊娠のことについて先生の話や友達の発表、自分で調べたことで色々を知ることができた。今回、性について学んで、異性を尊重することがとても大切だと思った。異性を尊重するためには、相手の性のこと、自分の性のことを正しく理解することが大切だと思った。そうすることで、相手を気遣うことができたりする。この授業で学んだ事をこれからの生活に活かしていきたい。

54

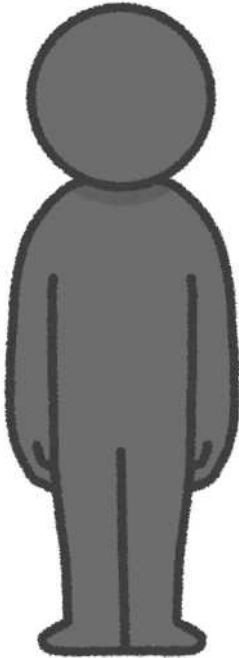
3. 生殖機能の成熟 4. 性とどう向き合うか 【命の授業 1年生】			
1 年	組	番	名前

教科書 P.48~53

1. 自分で調べたことや友達の発表を聞いて学習したことをまとめよう。

【男子の体の仕組みについて】

【受精と妊娠の仕組みについて】



【女子の体の仕組みについて】

【性情報・つきあうことについて】

【その他】

2. 友達の発表を聞き、学んだことや新たな発見をグッジョブカードで伝え合おう！

もらったグッジョブカードを貼る場所

3. 授業で学んだことや、今後の生活に活かしていこうと思ったことを書こう。

Ⅲ 埼玉県「性に関する指導」授業研究会（高等学校部会）

令和4年度埼玉県「性に関する指導」授業研究会（高等学校）開催要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和4年11月8日（火）

4 会 場 県立和光国際高等学校
和光市広沢4-1

5 参加者 県内公立高等学校及び特別支援学校の教員（保健体育科授業担当者等）
*今年度の初任者（保健体育科授業担当者等）については、可能な限り出席するよう御配慮願います

6 日 程

- | | | |
|----------|-----------------|------------|
| (1) 受 付 | 午後1時10分～ | (2階 視聴覚室前) |
| (2) 公開授業 | 午後1時40分～午後2時35分 | (2階 視聴覚室) |
| (3) 全体会 | 午後2時50分～午後3時10分 | (2階 視聴覚室) |
| (4) 研究協議 | 午後3時15分～午後4時30分 | (2階 視聴覚室) |

7 公開授業

学年	授業者	単元名
2年	山田 一輝 教 諭 (T1) 斉藤美智子 養護教諭 (T2)	(3) 生涯を通じる健康 (ア) 生涯の各段階における健康 ①結婚生活と健康

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	課 長	松中 直司
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	咲間 悟

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員			
埼玉大学教育学部教授	委 員	長	戸部 秀之
川口市立前川東小学校校長	副 委 員	長	岩澤奈々子
桶川市立加納小学校主幹教諭	委 員	員	高橋 陽太
小鹿野町立小鹿野小学校養護教諭	委 員	員	阿部 真子
八潮市立八幡小学校教諭	委 員	員	藤田 晃輔
深谷市立深谷中学校主幹教諭	委 員	員	松島 直司
春日部市立東中学校教諭	委 員	員	江夏 彩香
所沢市立所沢中学校養護教諭	委 員	員	三好明日美
県立川越初雁高等学校教諭	委 員	員	小貫 拓也
県立北本高等学校教諭	委 員	員	川尻鈴ノ介

1 指導内容の系統性

中学校では、「心身の機能の発達と心の健康」において、年齢に伴って身体の各器官が発育し、機能が発達することを呼吸器、循環器を中心に取り上げるとともに、発育・発達の時期や程度には個人差があること、また、思春期は、身体的には生殖にかかわる機能が成熟し、精神的には自己形成の時期であることなどを学習している。

2 指導内容の明確化

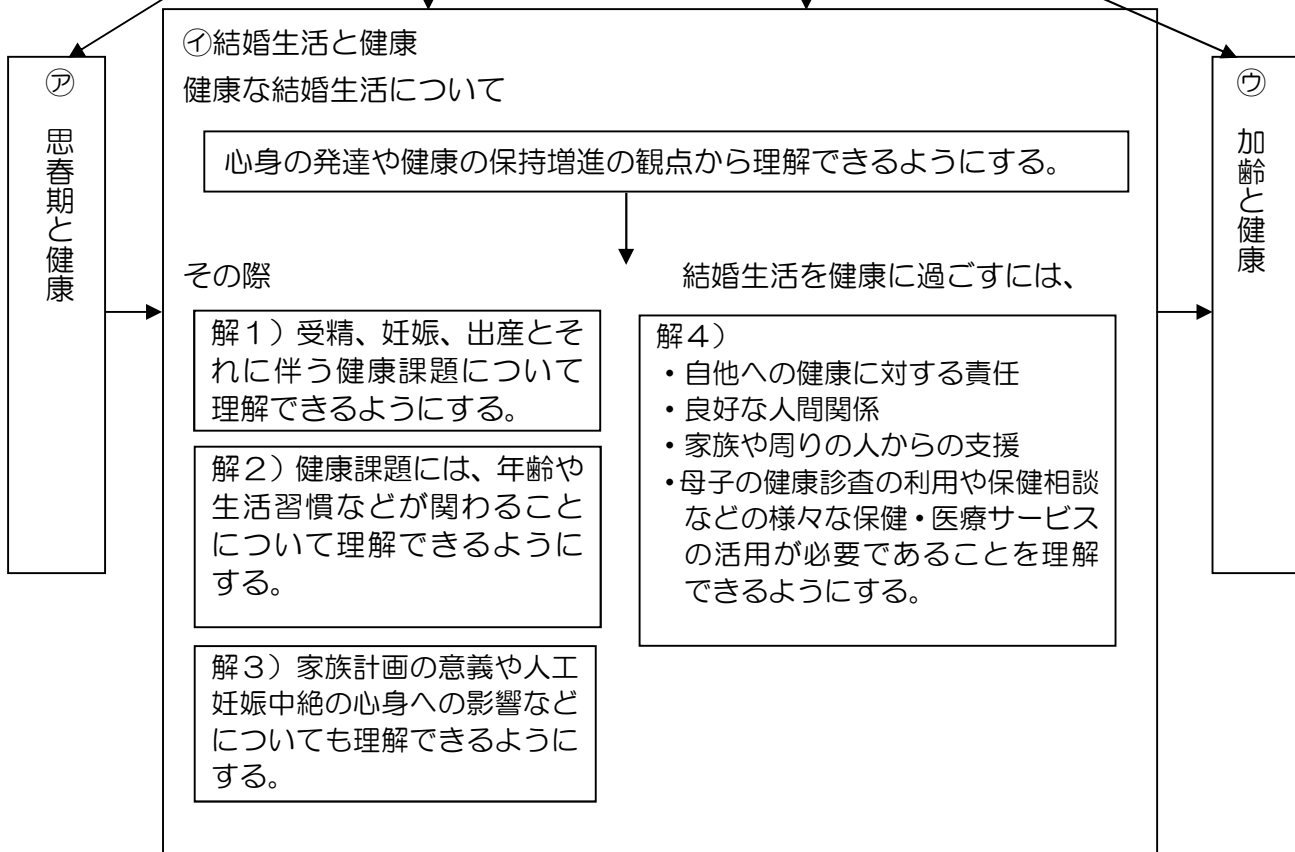
要) 学習指導要領
解) 同解説
の内容を示します。

要1)生涯を通じる健康の保持増進や回復には、

要2)生涯の各段階の健康課題に応じた

要3)自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解できるようにする。

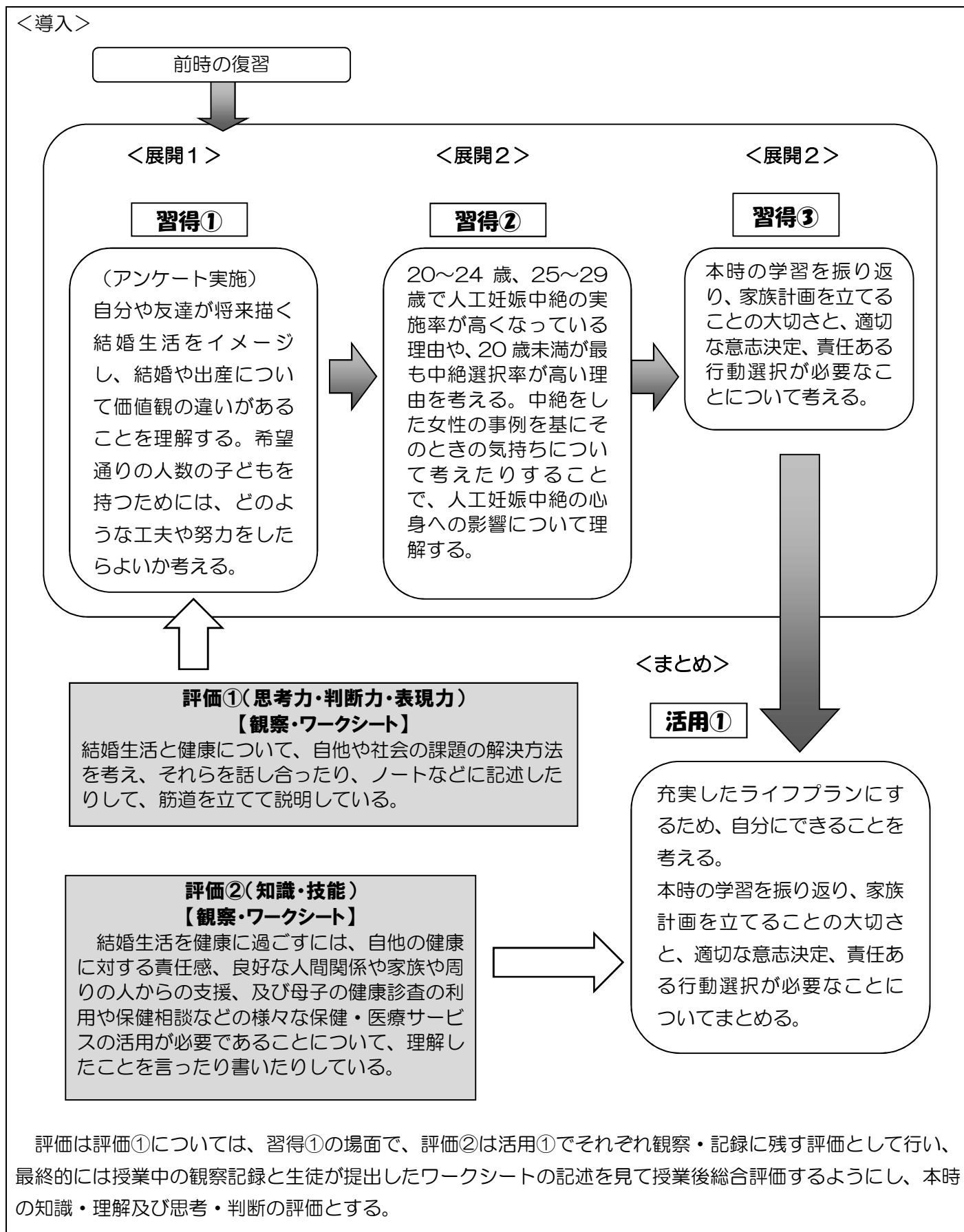
指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。



《指導案作成》
6 / 7 時間

3 知識を活用した学習活動（6／7時間目）

事前アンケートを実施し興味を持たせ、一般データを基にグループで話し合ったり、自分たちの意見を出し合ったりすることで、思考を深めていく。また、学んだ知識を活用して、家族計画を立てることの大切さを理解させ、適切な意志決定、責任ある行動を取れる思考力・判断力を育成する。



令和4年11月8日（火） 第5時限 視聴覚室
第2学年3組 男子19名 女子20名
指導者 教諭 山田 一輝
養護教諭 斉藤美智子

1 単元名 （3）生涯を通じる健康 「生涯の各段階における健康」

2 単元について

生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解を深めるとともに、生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。生涯の各段階においては、健康に関わる様々な課題や特徴があり、生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解できるようにする。また、生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。

3 生徒の実態

本校では「国際社会で必要とされるグローバルリーダー」を教育理念に掲げている。そのための要素の一つ目として「共生力」を挙げており、互いの立場、考え方、文化の違いを乗り越え、まさに地球規模で共存共栄を果たす力を育てたいとしている。性教育に関しても、多様性を重視し、女子のスラックスを採用するなどLGBTQへの理解も示している。また、年に1回、1年生を対象に養護教諭による性教育の授業を行っており、授業の感想で「中学までは性についての興味関心がなかったが、今後は将来のために勉強していきたい」といった前向きな意見が多くみられた。

他教科の学習については真面目に取り組む生徒が多く、グループ活動でのディスカッションでは意見を活発に出し合うことが出来る。しかし、性教育については恥ずかしさから自分の意見を言いづらい雰囲気があるため、工夫した内容で将来のライフプランを考える力を育てたい。

4 教師の指導観

高校生期は、性的成熟に伴い、心理面や行動面が大きく変化する時期である。これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を尊重する態度が必要であること、及び、性に関する情報への適切な対応が必要である。このようなことから、適切な意思決定・行動選択ができる資質・能力を身に付けさせることをねらいとして資料により正しい知識を身に付け、タブレットを活用したアンケートを実施してさらに定着させることで、より深く、活発なディスカッションができるようにしたい。

なかでも、人工妊娠中絶は心身に大きな影響を与えることや、望んでも妊娠できずにいる人がいるということ、妊娠・出産・育児には様々な準備が必要であることを理解させることで、家族計画の意義について考えさせたい。正しい知識と判断力を身に付け、自分の人生を大切にしようとする気持ちを持たせたい。

5 単元の目標

- (1) 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりに関わっていることについて、理解できるようにする。 <知識及び技能>
- (2) 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを説明することができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>
- (3) 生涯を通じる健康について、自他の健康の保持増進や回復、それを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 <学びに向かう力、人間性等>

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②思春期における変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③心身の発達や健康の保持増進の観点から、結婚生活を健康に過ごすための留意点について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題、及び健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤家族計画の意義や、人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑦中高年期を健やかに過ごすためには、自己管理を行うこと、高齢期においては、変化する心身の機能等には個人差があり、健康の回復が長期化する傾向にあること、高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①思春期と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>②結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	<p>①思春期と健康、結婚生活と健康、加齢と健康について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>

7 単元の指導と評価計画（全7時間）本時は○印

時	学習内容・ねらい	知	思	態	評価方法
1	<p>(ア) 思春期と健康 「思春期と健康」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることについて、理解できるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 思春期の男女に起こる特徴について考える。 2 本時のねらいについて確認する。 3 思春期の女性が無理なダイエットが及ぼす身体への影響について考える。 4 思春期ならではの心理的特徴について考える。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #c8e6c9; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じること。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 5 取り返しのつかない失敗を防ぐためには、自分の状態を理解したうえで行動を選択していくことが重要であることについて知る。 6 本時のまとめをする。 	○			ワークシート

2	<p>(ア) 思春期と健康 「性意識と性行動の選択」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期における変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解できるようにする。 ・思春期と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「男女差」にはどのような差を思い浮かべるか考える。 2 本時のねらいについて確認する。 3 高校生の時期の性的欲求には男女間で、どのような違いがあるか考える。 4 「セクハラ」と思えることにはどのようなことがあるか考える。 <div data-bbox="260 696 1058 831" style="border: 1px solid black; background-color: #d9ead3; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期における心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を尊重する態度が必要であること。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 5 高校生が得やすい性情報のなかには、誤ったものや単に興味をそそるだけのものがあることについて知る。 6 周囲の情報に影響された性行動（事例）について考える。 <div data-bbox="260 981 1058 1070" style="border: 1px solid black; background-color: #d9ead3; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性に関する情報への適切な対処が必要であること。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 7 本時のまとめをする。 			<p>① 観察・ワークシート</p> <p>② ワークシート（授業後）</p>
3	<p>(イ) 結婚生活と健康 「結婚生活と健康」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の発達や健康の保持増進の観点から、結婚生活を健康に過ごすための留意点について理解できるようにする。 ・結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができるようにする。 <p>II 学習指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「結婚に必要な条件」について考える。 2 本時のねらいについて確認する。 3 健康な結婚生活と自己のライフスタイルについて考える。 4 妊娠、出産と健康で幸せな結婚生活について考える。 5 結婚生活を健康で幸せに過ごすには、何が必要か考える。 <div data-bbox="260 1597 1058 1783" style="border: 1px solid black; background-color: #d9ead3; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康への責任、良好な人間関係、家族や周りの人からの支援、母子への健康診査の利用などの保健・医療サービスの活用が必要なこと。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 6 本時のまとめをする。 			<p>② 観察・ワークシート</p> <p>③ ワークシート（授業後）</p>
4	<p>(イ) 結婚生活と健康 「妊娠・出産と健康」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題、及び健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。 			

	<p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本時のねらいについて理解する。 2 妊娠したということはどのようにわかるか考える。 3 受精、妊娠、出産までの過程を知る。 4 妊娠によって生じる母体の変化について知る。 <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受精、妊娠、出産。 <ol style="list-style-type: none"> 5 妊娠中の健康管理について考える。 6 妊婦に対する配慮すべきことについて考える。 <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受精、妊娠、出産に伴う健康課題があること。 <ol style="list-style-type: none"> 7 本時のまとめをする。 	④		ワークシート
5	<p>(イ) 結婚生活と健康 「家族計画と人工妊娠中絶①」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族計画の意義や、人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解できるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本時のねらいについて確認する。 2 家族計画の意義を考える。 <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族計画には意義があること。 <ol style="list-style-type: none"> 3 避妊法について知る。 4 人工妊娠中絶について、方法と現状について知る。 <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工妊娠中絶には、心身への影響があること。 <ol style="list-style-type: none"> 5 不妊治療について知る。 6 本時のまとめをする。 	⑤		観察・発表
⑥	<p>(イ) 結婚生活と健康 「家族計画と人工妊娠中絶②」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて理解できるようにする。 ・結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前時を振り返り、本時の学習の見通しをもつ。 2 本時の課題を確認する。 3 アンケート結果を提示し、友達の考えを知る。 4 将来、希望通りに子供を持つためにできることを考える。 5 人工妊娠中絶の現状を知る。 6 若年層の人工妊娠中絶を防ぐために必要なことを考える。 <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族計画には意義があること。 ・人工妊娠中絶には、心身への影響があること。 <ol style="list-style-type: none"> 7 本時のまとめをする。 	⑥	②	<p>観察 ワークシート</p> <p>観察 ワークシート (授業後)</p>

7	<p>(ウ) 加齢と健康 「加齢と健康」</p> <p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高年期を健やかに過ごすためには、自己管理を行うこと、高齢期においては、変化する心身の機能等には個人差があり、健康の回復が長期化する傾向にあること、高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて理解できるようにする。 ・生涯の各段階における健康について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中高年の人たちが健康面で不安に思っていることを考える。 2 本時のねらいについて確認する。 3 加齢に伴って中高年に起こる心身の衰え（老化現象）について考える。 <div data-bbox="261 696 1059 835" style="border: 1px solid black; background-color: #c8e6c9; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う心身の変化について、形態面及び機能面からあること。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 4 今の生活習慣を続けていると、中高年期になった時に不健康になるだろうと思われることはどんなことか。 5 若い頃からの生活習慣の蓄積が中高年の健康に大きく影響を及ぼすことを知る。 <div data-bbox="261 981 1059 1167" style="border: 1px solid black; background-color: #c8e6c9; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高年期を健康に過ごすためには、若い時から自己管理をすること、生きがいをもつこと、家族や親しい友人と良好な関係を保つこと、地域と交流を持つことなどが重要であること。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 6 高齢社会に到来に応じて、健やかな老後の生活をするための施策提言を考える。 <div data-bbox="261 1240 1059 1379" style="border: 1px solid black; background-color: #c8e6c9; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の到来に応じて、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であること。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 7 本時のまとめをする。 	⑦	<p>① 観察・ワークシート</p> <p>観察・ワークシート (授業後)</p>
---	--	---	---

8 本時の学習と指導（6／7）

(1) ねらい

- ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて理解できるようにする。 <知識及び技能>
- ・結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>

(2) 資料及び準備するもの

- ・ワークシート
- ・PC
- ・プロジェクター

(3) 展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点（○指導 ◆評価規準）
導入 5分	<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 振り返る内容 ・家族計画について（意義など） ・避妊法とその選択について ・人工妊娠中絶について（母体保護法など） ・不妊治療について </div> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 【学習課題】 「充実したライフプランにするため、自分にできることを考える」 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する自分の考えを最後まとめられるように促す。 <p>3 アンケート結果を提示し友達の考えを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚や出産についてそれぞれの価値観の違いを知る。 ・世帯の子どもの人数について希望と現実 	<p>○パワーポイントを用いた具体的な資料を提示して、事前に学習した内容を振り返る。</p> <p>○理解が定着するように生徒に質問を投げかける。</p> <p>○子育てをするにはどんな困難があるか考えさせる。</p> <p>○避妊法の理解があるか。パートナーとともに話し合って選択することが大切であることを伝える。</p> <p>○人工妊娠中絶は身体への負担が大きいことを理解させる。</p> <p>○人工妊娠中絶が可能な時期は、母体保護法により22週未満と定められているが、その時期の胎児の各器官が形成された状態であることを理解させる。</p> <p>○不妊治療の種類について確認する。</p> <p>○避妊法や人工妊娠中絶、不妊について理解した上で、充実したライフプランにするためにはどうすれば良いのか考える学習であることを伝える。</p> <p>○円グラフを見て価値観の違いを知らせる。</p> <p>○国勢調査の結果、未婚率、離婚率が増加し、核家族化の影響を受けて単身世帯が増えて</p>

<p>展 開 3 5 分</p>	<p>の差について知る。 ・人工妊娠中絶の現状を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #90EE90; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族計画には意義があること。 ・人工妊娠中絶には、心身への影響があること。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>質問1 あなたは将来、パートナーや子どもを持ちたいですか</p> <ul style="list-style-type: none"> ①一人が良い ②パートナーがほしい ③パートナーと子どもがほしい </div> <p>・集計結果をプロジェクターへ映し出す。 ・①～③それぞれの理由を見ていく ・価値観の違いを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>質問2 あなたは将来、子どもを持つとしたら何人ほしいですか</p> </div> <p>・集計結果をプロジェクターへ映し出す。 ・インターネットサイト調査結果を見る。</p> <p>4 将来、希望通りに子供をもつためにできることを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「考えてみよう」 希望通りの人数の子どもを持つためには、どのような工夫や努力をしたら良いと思いますか</p> </div> <p>・グループで話し合い、発表する。</p>	<p>いることを伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもを持たずにパートナーと有意義に過ごしている人もいることを知らせる。 ○日本では同性結婚が認められていないが、自治体によってはパートナーシップ制度があるところも増えてきていることを伝える。 ○パートナーと子どもがほしい人が多くいることを知らせる。 ○生徒のアンケート結果を読み上げることでそれぞれの価値観に違いがあることを知らせる。 ○どの生き方を選択するかは自由であり、尊重してあげてほしい旨を伝える。 ○『願うときに「こうのとりの羽」は来ますか？』 P4・5・6・11を説明する。 ○生徒が回答した円グラフを見る。 ○様々な理由により、希望と現実が変わってくることもあることを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ○グループに分かれて話し合うよう促す。 ○発表者を決めるよう促す。 ○ワークシートに記入するよう促す。 ○各班で出し合った内容を全体に発表させる。 ○希望通り行かないこともあるが、工夫をして計画することが大切であることを伝える。 ○不安にならないために、希望通り行かなくても、その環境で幸せを見出せばよいことを伝える。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 (観察・ワークシート)【思考・判断・表現】</p> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て(支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導の中で、既習事項と結び付けて具体的な方法を考えさせる。 </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>質問3 人工妊娠中絶の最も多い年齢は何歳くらいだと思いますか。</p> </div>	

展 開 3 5 分	<p>・集計結果をプロジェクターへ映し出す。</p> <p>5 人工妊娠中絶の現状を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>指導すべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの女性が人工妊娠中絶を選択し、心や体に大きな負担をかけていることを知る。 ・20代や40代で人工妊娠中絶を選択する人が多い現状を知る。 </div> <p>・厚生労働省の人口動向調査結果をプロジェクターへ映し出す。</p> <p>(1) 「5階級年齢別中絶実施率」のグラフをプロジェクターへ映し出す。</p> <p>・人工妊娠中絶を実施した人は20歳から24歳が1番多くなっている。</p> <p>・性行為の機会が多いことや恋愛が活発になる時期であること、卵子や精子が元気で妊娠しやすい年代であることが考えられる。</p> <p>(2) 「5階級別中絶選択率」のグラフをプロジェクターへ映し出す。</p> <p>・出産した人数と中絶した人数で中絶選択率を出していることを説明する。</p> <p>6 若年層の人工妊娠中絶を防ぐために必要なことを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「考えてみよう」 このグラフからどんなことが考えられますか</p> </div> <p>・ワークシートに記入し、発表してもらう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【予想される反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ学生でお金がないから(20歳未満) ・育てる力がない(20歳未満) ・まだ自分のやりたいことがある。(20～24) ・結婚前に子どもを出産するのは世間の目が気になる。(20～24) ・今は2人の時間を大切にしたい。(20～24) ・仕事を休むわけにはいかない。(40～44) ・産み育てる体力がない(45～49) </div> <p>・生徒が出した意見をまとめる。</p>	<p>○生徒が回答した円グラフを見る。</p> <p>○人口動向調査について説明する。</p> <p>○15～49歳で人工妊娠中絶を実施した女性の割合を見る。</p> <p>○生徒の回答では、殆んどの人が20歳未満の人工妊娠中絶が多いと予想していたが、実際は20～24歳が最も多いことを伝える。</p> <p>○考えられる理由を伝える。</p> <p>○「5階級別中絶選択率」を説明する。</p> <p>○グラフにしたものを見る。</p> <p>○ワークシートの資料を参考に、記入するよう促す。</p> <p>○全体に発表させる。</p> <p>○生徒が出した意見をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20歳未満人は育てる環境や能力が備わっていない。 ・20～24歳は望まない妊娠をしやすい。 ・45～49歳は産み育てる体力がない。閉経に近づき、妊娠しないと油断している。など
---------------------------	--	---

ま と め 1 5 分	<p>7 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 本時の課題 「充実したライフプランにするため、自分にできることを考える」 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの取り組み方を説明する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【予想される反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のライフプランを計画することは大切だということがわかった。 ・女性の心と体を傷つけないために、人工妊娠中絶はしないようにしなければいけないと思った。 ・望まないのであれば、しっかりと避妊をする。 ・命を大事にしたいと思った。 ・不妊治療や流産を乗り越えた出産はすごい。 ・「望まれて生まれてくる」ということがどのようなことなのか、わかった気がする。 </div> <p>8 教師の思いを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のこれまでの経験を話し、イメージしやすくする。 ○まとめの取り組み方を説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをワークシートに記入 ・グループ内で発表 ・グループで良かった感想を全体に発表 ○各班に発表させ、考えを深めさせる。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◆結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。(観察・ワークシート)【知識・技能】</p> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て(支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導の中で、状況を想像させ、どう考えるか個別指導する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>〈家族計画の必要性〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望むときに妊娠できるように。 ・経済的に困らないために。 ・望まない妊娠をしないように。 ・妊娠しやすい時期を過ぎてしまわないように。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○充実したライフプランにするためには、家族計画が必要である。時に思い通り行かないとしても前向きにとらえて状況によってライフプランの再構築を行っていけばよいことを伝える。
--------------------------------	---	--

家族計画と人工妊娠中絶 2

前回の復習

- 1 家族計画について
- 2 避妊法とその選択について
- 3 人工妊娠中絶について
- 4 不妊治療について





家族計画とは

自分のライフプランに合わせて、子どもの人数や出産する時期、間隔を考えること

子育てでするということは？



避妊法とその選択

内容	コンドーム	OC/ピル	IUS	リズム法
				
内容	精子の膣内への放出を防ぐ方法	OC/ピル(定容薬経口避妊薬)は女性ホルモンを含む薬剤。正しく服用することで効果の高い避妊ができる。	IUS(子宮内システム)は子宮の中に挿入される小さな器具で、黄体ホルモンを放出するタイプ。一度の挿入で最長5年間、効果の高い避妊が出来る。	基礎体温を測定することにより、排卵期を知り、避妊の日薬にす
メリット	・性感染症が予防できる ・手帳に人手でできる	・女性主体で避妊できる ・月経周期が規則的になる ・生理の量が減り、生理痛が軽くなる	・女性主体で避妊できる ・生理の量が減り、生理痛が軽くなる ・薬の飲み忘れがない	・副作用がない ・自分の月経周期を把握できる
デメリット	・装着ミス、ズレ、破損などによる失敗率が高い	・医師による処方が必要 ・毎日服用する必要があるのである ・副作用が起こることある	・挿入後数ヶ月間は生理以外の出血が稀くはあがるが、時間とともに日数や量は少なくなる ・医師による装置、除去が必要 ・医師処方の薬と挿入してもらう	・毎朝きちんと体温を測定する必要がある ・発熱、過労、ストレスなどで基礎体温が変動し、排卵期が見つけにくくなる場合がある ・なし

安全かつ確実であるとともに、お互いにとって必要な条件を満たすことが大切である。

人工妊娠中絶の方法

母体保護法により、人工妊娠中絶ができる時期は22週未満とされている

人工妊娠中絶の方法

- そうは法 (説明文+イラスト)
- 電動吸引法 (説明文+イラスト)
- 手動真空吸引法 (説明文+イラスト)
- 中絶薬 (説明文+イラスト)

出産までの流れ (人工妊娠中絶可能時期)

妊娠	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月
妊娠初期	0-3週目	4週目	5週目	6週目	7-11週目	12-21週目	22-31週目	32-39週目	40週目	41週目	
妊娠中期											
妊娠後期											

中絶できる期間 ※

産後に来た生理の初日
 まだ妊娠と確定できない期間
 (目安) 次の生理予定日
 妊娠判定前はこのころからできるようになる
 産後4週から検査ができる場合があるが、やや陽性は高くなる

初期中絶 (7週～11週6日まで)
 費用: 10万円前後
 手術は日帰りを中心

中期中絶 (～21週6日まで)
 費用: 30万円～
 通常2～3日の入院が必要

後期中絶 (32週～41週)
 22週日以降の中絶は理由に問わず、ほぼ全て手術による
 《出産する場合》 出産予定日の目安
 産期: この期間に生まれるのが赤ちゃんにとっては嬉しい

※医師が母体保護法に該当すると認められた場合のみ、中絶手術を受けることができる
 ※未成年の中絶は母の同意書が必要となる場合がある

【デメリット】
 ☆母体の心身への影響
 ☆経済的負担

妊娠12週以後の中絶手術を受けた場合、後述に死産のリスクがある。胎児の理葬許可証をもらう必要がある。

不妊治療について

《不妊原因を探る》
 基本検査 → 精密検査

《治療を開始する》
 精密検査の結果に応じて相談の上、治療を行う

タイミング法

保険適用
 ・1回数千円
 ・医師の指導で排卵日前後に性交渉をする

人工授精

保険適用外
 ・1回1～2万円
 ・精子を人工的に子宮へ注入する

体外受精

保険適用外
 ・1回20万～60万円
 ・卵子を取り出し、精子と受精させる

本時の課題

充実したライフプランにするため、
自分にできることを考える

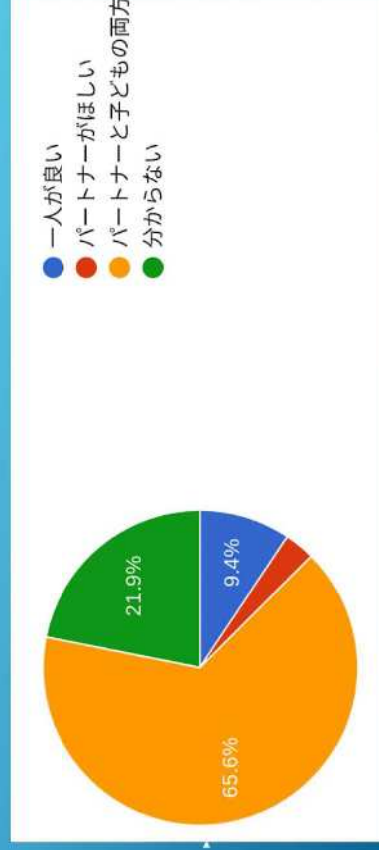
★保健授業アンケート結果

みんなの答えを見てみよう！

★質問 1

あなたは将来、パートナーや子どもを
持ちたいですか

みんなの答え



★質問 1

①「一人が良い」と回答した人の理由

(3件の回答)

- ・一人の方が好きだし楽。
- ・今のところ子供があまり好きではないから自分のために時間やお金を使いたいから
- ・今の日本で家庭を築きたいと思えないから。

国勢調査「単身世帯の割合」(総務省)

2015年：23%

2020年：38%

未婚率・離婚率の増加、核家族化の影響を受けて単身世帯が増加している。

★質問 1

②「パートナーがほしい」と回答した人の理由

(1件の回答)

- ・生活が充実するから

★質問 1

③「パートナーと子どもがほしい」と回答した人の理由

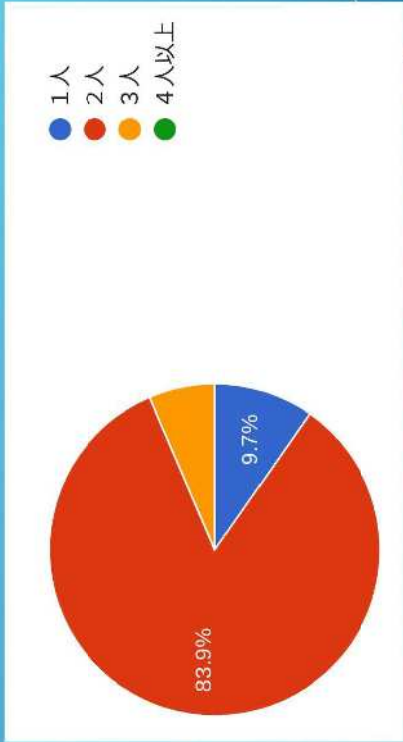
(19件の回答)

- ・孤独死が嫌だから
- ・将来的には家庭を持ちたいという気持ちがあるから (2)
- ・結婚することも、自分たちの子供を2人で育てていくことも幸せな生き方だと思ったから。 (4)
- ・両親を見ていて幸せそうだと思ったから (2)
- ・今現在の家族がこの構成でできていてとても幸せだから。 (2)
- ・子供繁栄
- ・「大人になったら結婚して子供を持つ」という固定概念があるのが一番大きい理由だと思う。強い願望がある。訳ではないが、なんとなくそう思う。
- ・生涯孤独よりも絶対楽しいと思うから (2)
- ・家庭を持ちたい、父、母の喜び、悲しみなどを知りたい
- ・結婚生活は大変そうだけど、独身で辛い人生過ごしていくのはつまらない人生になりそうだから
- ・誰かと一緒に暮らしてれば自堕落な生活にもなりにくいし楽しい・人間も所詮はただの生き物だから子供を持つべき、少子化の予防にもなる
- ・親に安心してもらいたい子供を育てることで自分も成長できる
- ・充実しそうだから

★質問 2

あなたは将来、子どもを持つとしたら何人ほしいですか

みんなの答え



(インターネットサイト「縁結び大学」調査)
20代から40代の男女231人の調査結果

希望している(していた)子どもの人数は？

いま、お子さんは何人?(出産予定を含む)

欲しかった子供の人数を授かることができた？

希望していた人数より、
実際の子どもの人数が少ない理由は？

[Red-bordered empty box for writing reasons]

【年代別】子どもが受けられる助成制度一覧

助成制度	0歳～未就学※注2 園※注1	小学生	中学生	高校生高専 (1～3年)	高専(4～5年) 専門学校大 学 生
------	-------------------	-----	-----	-----------------	-----------------------------

[Red-bordered empty box for additional information]

考えよう！

希望通りの人数の子どものももを持った
には、どのような工夫や努力をした
ら良いと思いますか

★グループで話し合っってワークシートに書いてください

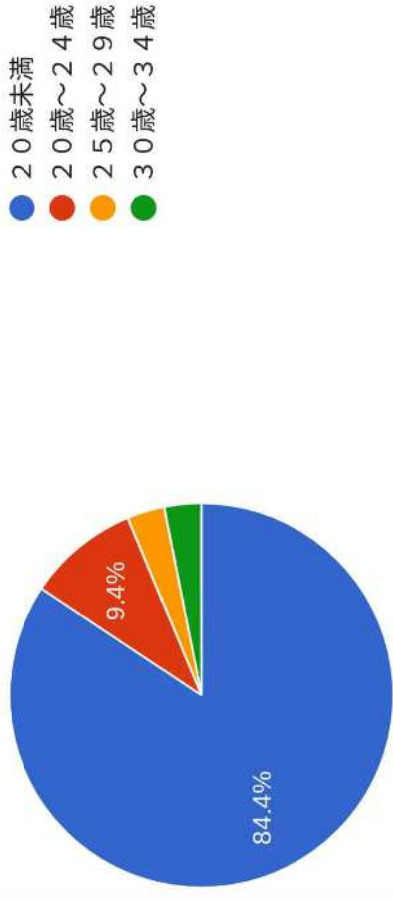
希望通りの人数の子どものももを持った
工夫や努力は？

[Red-bordered empty box for writing efforts]

★質問3

人工妊娠中絶の最も多い年齢は何歳くらいだと思いますか

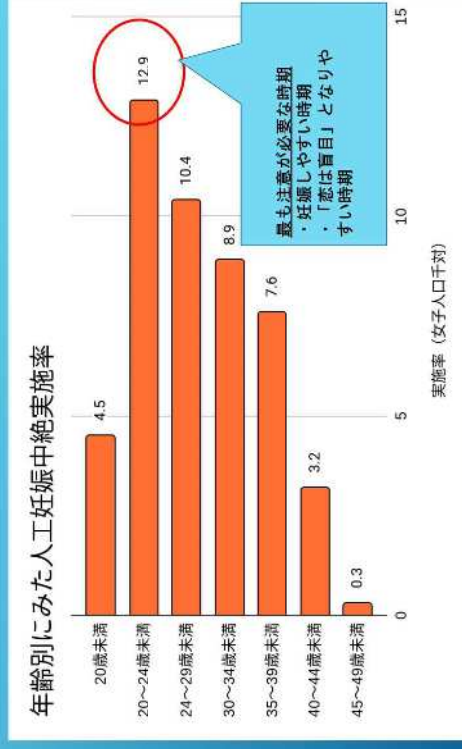
みんなの答え



厚生労働省の人口動向調査結果をみてみよう！

この調査は、国民が役所に届ける「婚姻票」「離婚票」「出生票」「死亡票」「死産票」の5種類について、各市町村長と各保健所長に調査したものである。

①5階級年齢別中絶実施率（厚生労働省2017年調査）

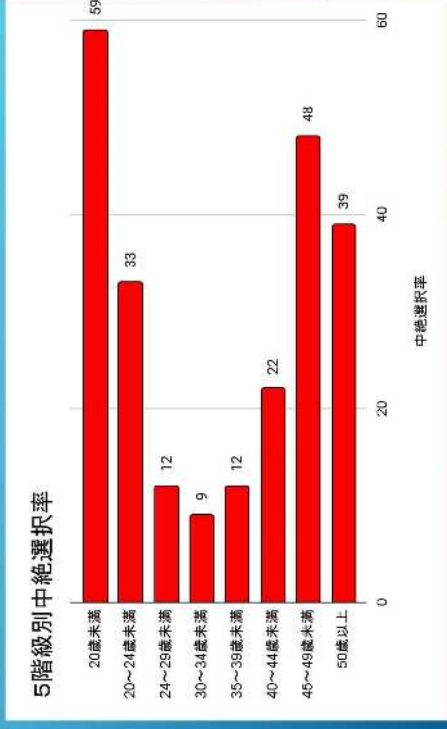


20～24の人工妊娠中絶が最も多い（厚生労働省調査）

②5階級別中絶選択率（厚生労働省2017年調査）

年齢（歳）	出産数A	中絶数B	中絶選択率 B/(A+B) %
20歳未満	9,898	14,128	59%
20～24歳	79,264	39,270	33%
25～29歳	240,933	32,222	12%
30～34歳	345,419	33,082	9%
35～39歳	216,938	29,641	12%
40～44歳	52,101	14,876	22%
45～49歳	1,450	1,363	48%
50歳以上	62	39	39%
全年齢	946,065	164,621	15%

②5階級別中絶選択率（厚生労働省2017年調査）



★考えてみよう！

このグラフからどんなことが考えられますか

★ワークシートに書いてください

本時の課題

充実したライフプランにするため、
自分にできることを考える

- ①課題に対して自分の考えや、この単元「家族計画と人工妊娠中絶」について学んだ感想をワークシートに記入
- ②グループ内で発表
- ③グループで良かった感想を全体発表

最後に・・・

人生の先輩が時々「幸せだな」と感じる瞬間

- ★子どもとハグする瞬間
- ★子どもが楽しそうに学校の話をする瞬間
- ★夫と前向きな未来の話をしている瞬間
- ★友達とおしゃべりしている瞬間
- ★バットティングセンターで良い当たりした瞬間
- ★生徒が保健室で辛いことがあるって泣いてくれたけれど、その数日後に笑顔で見られた瞬間

最後に・・・

みなさんが小さくても幸せな人生を送って
くれることを願っています。

家族計画と人工妊娠中絶②

令和 年 月 日

年 組 番氏名

考えてみよう！

1、希望通りの子どもを持つためには、どのような工夫や努力をしたら良いと思いますか

2、このグラフからどのようなことが考えられますか



本時の課題「充実したライフプランにするため、自分に出来ることを考える」

《学んだことを踏まえ、課題に対しての自分の考えや感想を記入しましょう》

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 学校における性に関する指導の充実を図るため、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(事業)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事業を所掌する。

- (1) 児童生徒の発達の段階や地域の実態に応じた性に関する指導のための指導計画の研究
- (2) 各学校における効果的な指導法や指導教材に関する研究
- (3) 性に関する指導の授業研究会の実施とその効果の検証に関する研究

(組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員をもって構成する。

- 2 委員会に委員長を置き、学識経験者をもって充てる。
- 3 委員会に副委員長を置き、埼玉県教育局県立学校部保健体育課長及び県立学校長又は市町村立学校長をもって充てる。

(運営)

第4条 委員長は、委員会を総括する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、令和5年2月28日までとする。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、議長を務めるものとする。

- 2 委員長が、必要と認めるときは、別表に掲げる者以外の県及び市町村等、関係機関の職員の出席を要請することができる。

(事務局)

第7条 委員会は、事務を処理するために、事務局を埼玉県教育局県立学校部保健体育課内に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は委員長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、令和4年6月6日から施行する。

別 表 (第3条関係) 委員

学識経験者
公立学校校長
教諭
養護教諭
保健体育課長

学校健康教育推進事業（「性」に関する指導」課題解決支援事業）

【児童生徒を取り巻く状況】

- ・ 性情報の氾濫など社会環境の急激な変化により、子供たちの心身の健康に大きな影響を与えている。
- ・ 若年層のエイズ及び性感染症や人工妊娠中絶が問題となっている。

【課題】

- ・ 子供たちが性に関して適切に理解し、行動できるようにすること。
- ・ 心身の発育・発達と健康や性感染症の予防などに関する知識を確実に身に付けること。
- ・ 自他を尊重する心を育むこと。

埼玉県「性」に関する指導」課題解決検討委員会の開催

- 埼玉県「性」に関する指導」課題解決検討委員会を設置し、発達の段階に応じた効果的な性に関する指導方法の研究を行う。
 - ・ 県における課題の把握
 - ①性感染症
 - ②人工妊娠中絶
 - ③性情報への対処
 - ④家族計画の意義 など
 - ・ 課題解決方法の協議、検討
 - ・ 事業成果の検証
 - ・ 事業成果の普及・啓発

【構成員】
有識者、学校関係者 等

指導
助言

報告

「性」に関する指導」指導者研修会の開催

- 性に関する健康課題を受け、指導方法の普及推進を図るため、学校における指導者を対象に研修会を開催
 - ・ 行政説明
 - ・ 実践発表
 - ・ 講演会

「性」に関する指導」授業研究会の開催

- 発達の段階に応じた効果的な性に関する指導方法について授業研究会を実施。
 - ・ 校種別に授業研究会を開催
 - ・ 研究協議 等

子供たちの豊かな心と健やかな体を育成する

令和4年度 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会名簿

		氏 名	所 属	職 名
1	委員長	戸部 秀之	埼玉大学教育学部	教 授
2	副委員長	岩澤 奈々子	川口市立前川東小学校	校 長
3	副委員長	松中 直司	教育局県立学校部保健体育課	課 長
4	委員	川尻 鈴ノ介	県立北本高等学校	教 諭
5	〃	斉藤 美智子	県立和光国際高等学校	養 護 教 諭
6	〃	小貫 拓也	県立川越初雁高等学校	教 諭
7	〃	三好 明日美	所沢市立所沢中学校	養 護 教 諭
8	〃	松島 直司	深谷市立深谷中学校	主 幹 教 諭
9	〃	江夏 彩香	春日部市立東中学校	教 諭
10	〃	高橋 陽太	桶川市立加納小学校	主 幹 教 諭
11	〃	阿部 真子	小鹿野町立小鹿野小学校	養 護 教 諭
12	〃	藤田 晃輔	八潮市立八幡小学校	教 諭

1	事務局	遠井 学	教育局県立学校部保健体育課	主 任 指 導 主 事
2	〃	脇田 一亮	教育局県立学校部保健体育課	主 幹
3	〃	澤村 文香	教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事
4	〃	咲間 悟	教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業
実施報告書

埼玉県教育局県立学校部保健体育課

課長	松中	直司
教育指導幹事	大松	武晴
主任指導主事	遠井	学
主幹	脇田	一亮
主査	峰岸	宏次
指導主事	澤村	文香
指導主事	咲間	悟
指導主事	龍野	雅美
主事	滝澤	愛

令和5年3月発行

さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048-830-6963



埼玉県マスコット「コバトン」
「さいたまっち」